

Canon

 **imageFORMULA**



Capture Perfect 3.1

操作ガイド

はじめに

このたびはキャノンドキュメントスキャナーをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
CapturePerfect 3.1 は、キャノンドキュメントスキャナーで画像をコンピューターに取り込むための ISIS 互換のアプリケーションソフトウェアです。CapturePerfect 3.1 の機能を十分に理解し、より効果的にご使用いただくために、本書および ISIS/TWAIN ドライバのヘルプならびに、お使いのスキャナーの取扱説明書を併せてお読みください。

商標について

- ISIS™、MultiStream™ は、EMC Corporation の商標です。
- Microsoft、Windows、SharePoint、PowerPoint、および Windows Live は、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
- 本文中には TM、® マークは明記していません。

著作権について

- libtiff
Copyright (c) 1988-1996 Sam Leffler
Copyright (c) 1991-1996 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

- libjpeg
Portions of this software are based in part on the work of the Independent JPEG Group.

複製についてのご注意

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、または公共団体や民間団体発行の免許証、許可書、公文書、私文書などの複製は違法となり、処罰の対象となります。
- 書籍、絵画、版画、地図、図面などの著作物の複製は、自己の使用以外の目的でお使いになることは禁じられていますのでご注意ください。

免責

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容は予告なく変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては、前記にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

目次

はじめに	2
操作を始める前に	4
CapturePerfect ウィンドウについて	5
スキャナーの選択と設定	15
保存される画像ファイルについて	17
保存されるファイル名について	26
マルチストリーム機能について	31
OCR 機能について	35
ログファイルについて	38
バーコード / OCR の修正について	40
その他の機能について	41
スキャン方法	48
1 ページのみスキャン	49
「スキャンして保存」(スキャンした画像を指定したファイルに保存する)	50
「スキャンしてプリント」(スキャンした画像を印刷する)	53
「スキャンしてメール」(スキャンした画像を電子メールに添付する)	55
「スキャンして SharePoint サーバーに送信」 (スキャンした画像を SharePoint サーバーに送信する)	58
「プレゼンテーションモードでスキャン」 (スキャンした画像を全画面表示で表示する)	61
「よく使う設定」(あらかじめ登録した設定でスキャンをおこなう)	64
スキャンした画像の操作	69
サムネイルウィンドウを表示する	70
ウィンドウを分割する	71
画像を保存する	73
画像ファイルを開く	75
画像を印刷する	77
開いている画像の明るさを調整する	79
画像ファイルにページを挿入 / 追加する	80
画像ファイルのページを差し替える	83
PDF ファイルにセキュリティーを設定する	86
索引	88

操作を始める前に

CapturePerfect を使用する前に、以下の説明をよくお読みください。

- [CapturePerfect ウィンドウについて \(→ P. 5\)](#) : CapturePerfect ウィンドウのメニューについて説明します。
- [スキャナーの選択と設定 \(→ P. 15\)](#) : スキャナーの選択と設定の手順について説明します。
- [保存される画像ファイルについて \(→ P. 17\)](#) : CapturePerfect で保存できるファイル形式について説明します。
- [保存されるファイル名について \(→ P. 26\)](#) : CapturePerfect で保存されるファイル名の定義について説明します。
- [マルチストリーム機能について \(→ P. 31\)](#) : マルチストリーム出力機能について説明します。
- [OCR 機能について \(→ P. 35\)](#) : OCR 機能について説明します。
- [ログファイルについて \(→ P. 38\)](#) : バーコード検知機能および OCR 機能の使用時に、それらの認識結果をログファイルに保存する方法について説明します。
- [バーコード / OCR の修正について \(→ P. 40\)](#) : バーコードや OCR の認識結果が保存されたログファイルの確認および修正方法について説明します。
- [その他の機能について \(→ P. 41\)](#) : スキャンした画像の回転保存、分割保存の設定および、保存先に特定したフォルダーの容量警告設定について説明します。

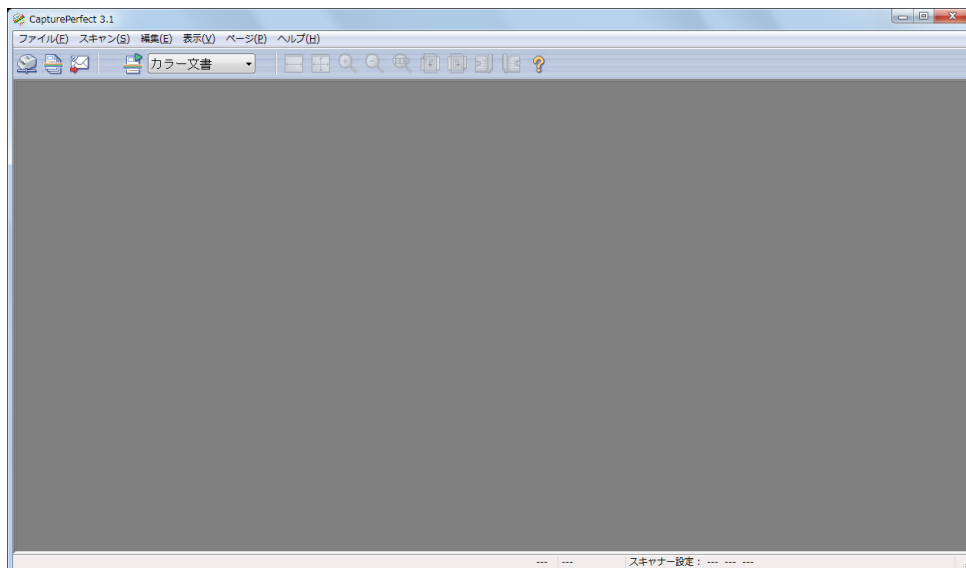
重要

- 使用するスキャナーがコンピューターと正しく接続されていることを確認してください。詳細は、お使いのスキャナーの取扱説明書を参照してください。
- CapturePerfect を使用する前に、スキャナーの ISIS/TWAIN ドライバをインストールしてください。ISIS/TWAIN ドライバのインストールについては、お使いのスキャナーの取扱説明書を参照してください。

CapturePerfect ウィンドウについて

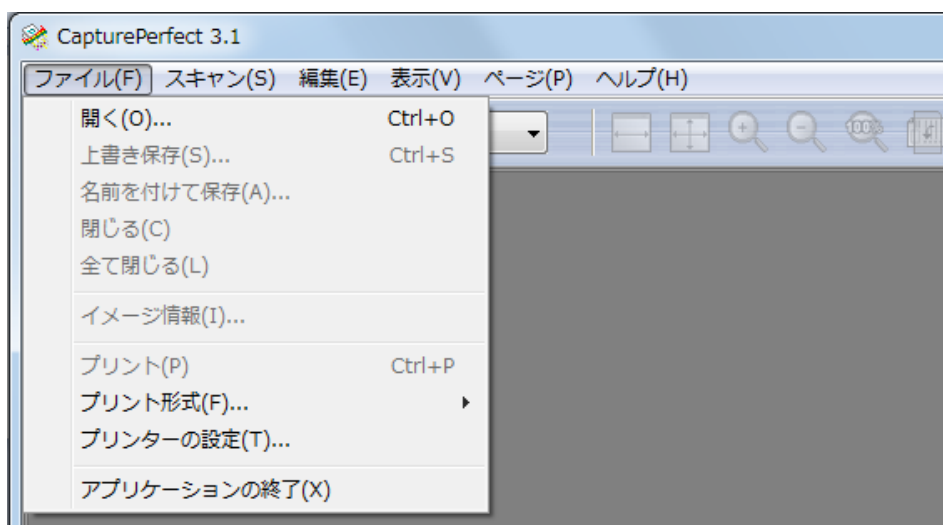
CapturePerfect を起動すると次のようなウィンドウが表示されます。ここでは、ウィンドウのメニューバーにある各メニューとステータスバーについて説明します。

[\[ファイル\]メニュー](#)、[\[スキャン\]メニュー](#)、[\[編集\]メニュー](#)、[\[表示\]メニュー](#)、[\[ページ\]メニュー](#)、[\[ヘルプ\]メニュー](#)、[ステータスバー](#)



[ファイル]メニュー

[\[ファイル\]メニュー](#)、[\[スキャン\]メニュー](#)、[\[編集\]メニュー](#)、[\[表示\]メニュー](#)、[\[ページ\]メニュー](#)、[\[ヘルプ\]メニュー](#)、[ステータスバー](#)



[開く]

保存されている画像ファイルを開きます。開くことのできる画像ファイルは、CapturePerfect で保存した TIFF ファイル (* .tif)、JPEG ファイル (* .jpg)、BMP ファイル (* .bmp)、PDF ファイル (* .pdf)、PNG ファイル (* .png) の 5 種類です。[画像ファイルを開く \(→ P. 77\)](#)

[上書き保存]

開いている画像ファイルを上書き保存します。

メモ

PDF ファイルにセキュリティが設定されている場合、ファイルを開くときにパスワードの入力が必要です。[PDF ファイルにセキュリティを設定する \(→ P. 88\)](#)

[名前を付けて保存]

開いている画像ファイルに名前を付けて保存します。[画像を保存する \(→ P. 75\)](#)

[閉じる]

開いている画像ファイルを閉じます。

[全て閉じる]

開いている画像ファイルを全て閉じます。

[イメージ情報]

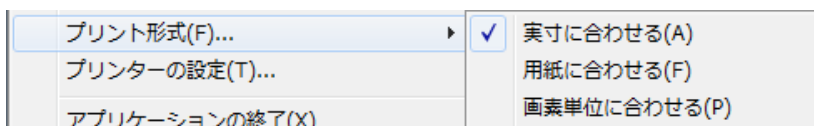
開いている画像ファイルのイメージ情報を表示します。

[プリント]

ウィンドウに表示されている画像を印刷します。[画像を印刷する \(→ P. 79\)](#)

[プリント形式]

印刷する画像のサイズをサブメニューから選択します。



- [実寸に合わせる]
印刷する用紙や読み込んだ解像度にかかわらず、原稿と同じサイズで印刷されます。
- [用紙に合わせる]
画像を用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小印刷します。
- [画素単位に合わせる]
読み込んだ画像の 1 ドットがプリンターの 1 ドットになるように印刷されます。そのためドットの小さい高解像度のプリンターで印刷する場合、プリントサイズは小さくなります。

[プリンターの設定]

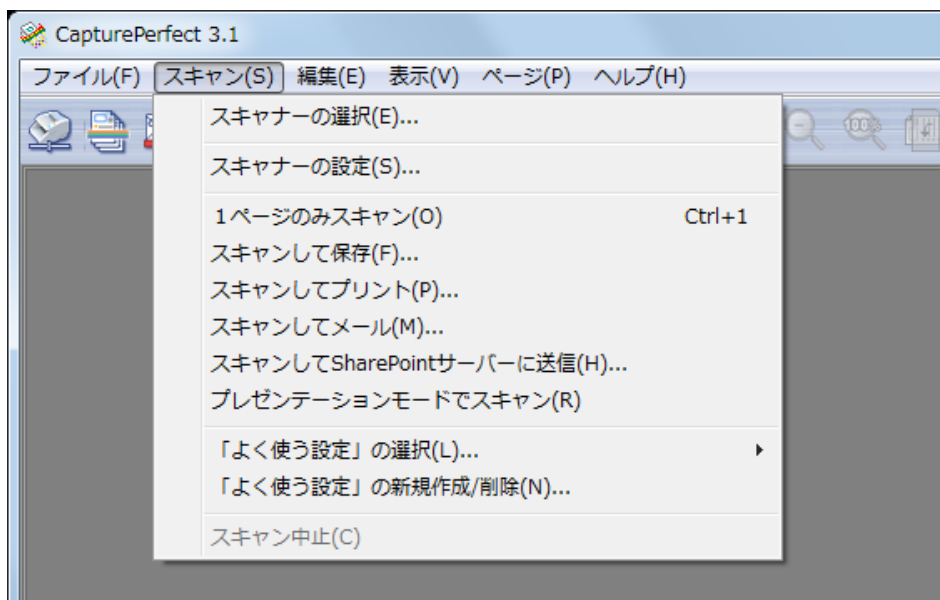
画像を印刷するプリンターの設定を行います。

[アプリケーションの終了]

CapturePerfect を終了します。

[スキャン]メニュー

[\[ファイル\]メニュー](#), [\[スキャン\]メニュー](#), [\[編集\]メニュー](#), [\[表示\]メニュー](#), [\[ページ\]メニュー](#), [\[ヘルプ\]メニュー](#), [ステータスバー](#)



[スキャナーの選択]

使用するスキャナーを選択します。 [スキャナーの選択 \(→ P. 15\)](#)

[スキャナーの設定] または ボタン

スキャナーの設定をします。 [スキャナーの設定 \(→ P. 15\)](#)

[1 ページのみスキャン]

原稿を 1 ページスキャンして表示します。 [1 ページのみスキャン \(→ P. 49\)](#)

[スキャンして保存] または ボタン

連続して複数ページの原稿をスキャンすると同時に、ファイルに画像を保存します。 [「スキャンして保存」\(スキャンした画像を指定したファイルに保存する\) \(→ P. 50\)](#)

[スキャンしてプリント] ボタン

原稿をスキャンしながら画像を印刷します。スキャンした画像は、[スキャンしてプリント] を終了時に保存する / しないを選択します。 [「スキャンしてプリント」\(スキャンした画像を印刷する\) \(→ P. 53\)](#)

[スキャンしてメール] または ボタン

スキャンした画像を電子メールに添付します。スキャンした画像は、[スキャンしてメール] を終了時に保存する / しないを選択します。 [「スキャンしてメール」\(スキャンした画像を電子メールに添付する\) \(→ P. 55\)](#)

[スキャンして SharePoint サーバーに送信]

スキャンした画像を SharePoint サーバーに送信します。スキャンした画像は、[スキャンして SharePoint サーバーに送信] を終了時に保存する / しないを選択します。[「スキャンして SharePoint サーバーに送信」](#)（スキャンした画像を SharePoint サーバーに送信する）（→ P. 58）



[プレゼンテーションモードでスキャン]

CapturePerfect を全画面表示に切り替えてスキャンを行います。スキャンした画像は、[プレゼンテーションモードでスキャン] を終了時に保存する / しないを選択します。[「プレゼンテーションモードでスキャン」](#)（スキャンした画像を全画面表示で表示する）（→ P. 63）

メモ

プレゼンテーションの会場など、コンピューターにプロジェクターが接続されている環境で使用するにより、紙の原稿をスキャンすると同時にスクリーンに投影して説明することができます。

[よく使う設定の選択] または ボタン

ツールバーの  カラー文書  （[よく使う設定] リストボックス）でよく使う設定を選択し、



ボタンでよく使う設定を実行します。よく使う設定は [スキャン] メニューの [よく使う設定の新規作成 / 削除] を選択すると登録できます。[「よく使う設定」](#)（あらかじめ登録した設定でスキャンをおこなう）（→ P. 66）

[よく使う設定の新規作成 / 削除]

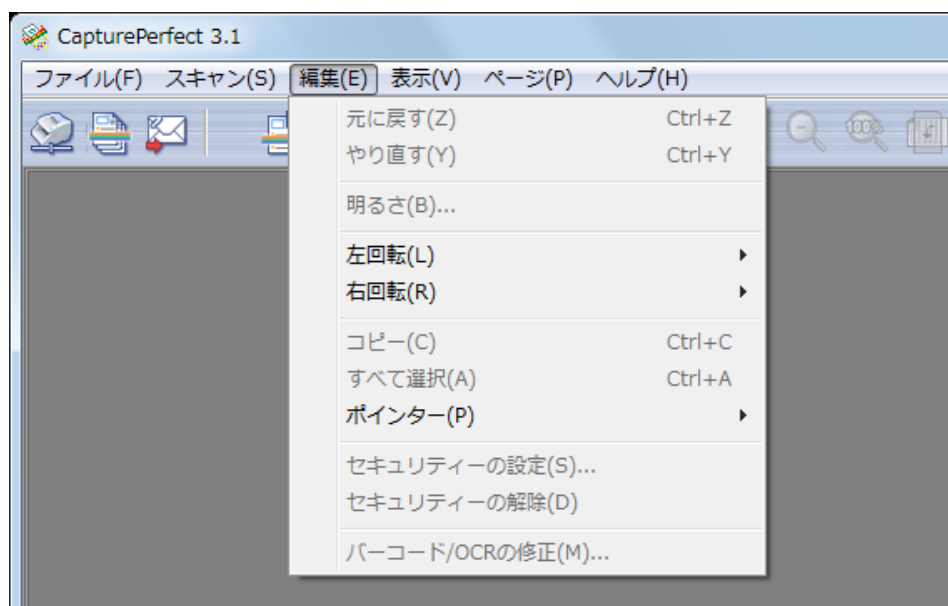
「よく使う設定」の新規作成、変更、削除を行います。[「よく使う設定」](#)（あらかじめ登録した設定でスキャンをおこなう）（→ P. 66）

[スキャン中止]

実行中のスキャンを中止します。

[編集]メニュー

[\[ファイル\]メニュー](#), [\[スキャン\]メニュー](#), [\[編集\]メニュー](#), [\[表示\]メニュー](#), [\[ページ\]メニュー](#), [\[ヘルプ\]メニュー](#), [ステータスバー](#)



[元に戻す]

ページの操作（削除、挿入 / 追加、差し替えなど）を行った後に、変更した内容を変更前の状態に戻します。

[やり直す]

元に戻した内容を再度実行します。

[明るさ]

[明るさ] ダイアログボックスを表示し、表示されている画像の明るさとコントラストを調整します。 [開いている画像の明るさを調整する \(→ P. 81\)](#)

[左回転] または ボタン

サブメニューで指定したページの画像を反時計回りの方向に回転させます。

左回転(L)	▶	現在のページ(C)
右回転(R)	▶	すべてのページ(A)
コピー(C)	Ctrl+C	奇数のページ(O)
すべて選択(A)	Ctrl+A	偶数のページ(E)

【右回転】または ボタン

サブメニューで指定したページの画像を時計回りの方向に回転させます。

右回転(R)	▶	現在のページ(C)
コピー(C)	Ctrl+C	すべてのページ(A)
すべて選択(A)	Ctrl+A	奇数のページ(O)
ポインター(P)	▶	偶数のページ(E)

【コピー】

【すべて選択】または、【ポインター】 - 【選択ツール】で指定された領域の画像をクリップボードにコピーします。

クリップボードにコピーした画像は、他のアプリケーションに貼り付けて使用することができます。

【すべて選択】

表示されている画像のすべての領域を指定します。

【ポインター】

表示されている画像の一部の領域を指定するときに、ポインターの設定をサブメニューから変更します。

ポインター(P)	▶	<input checked="" type="checkbox"/> 手のひらツール(H)
セキュリティの設定(S)...		選択ツール(S)

・【手のひらツール】

画像を表示し、カーソルを画像ウィンドウに移動したときにカーソルが手の形になります。画像を拡大しているときにドラッグして画像の表示領域を移動することができます。

・【選択ツール】

画像を表示し、カーソルを画像ウィンドウに移動したときにカーソルが十字カーソルになります。十字カーソルを対角線にドラッグするとドラッグした任意の領域が指定されます。

【セキュリティの設定】

PDF ファイルを開いているときに有効になり、開いている PDF ファイルにセキュリティを設定します。[PDF ファイルにセキュリティを設定する \(→ P. 88\)](#)

【セキュリティの解除】

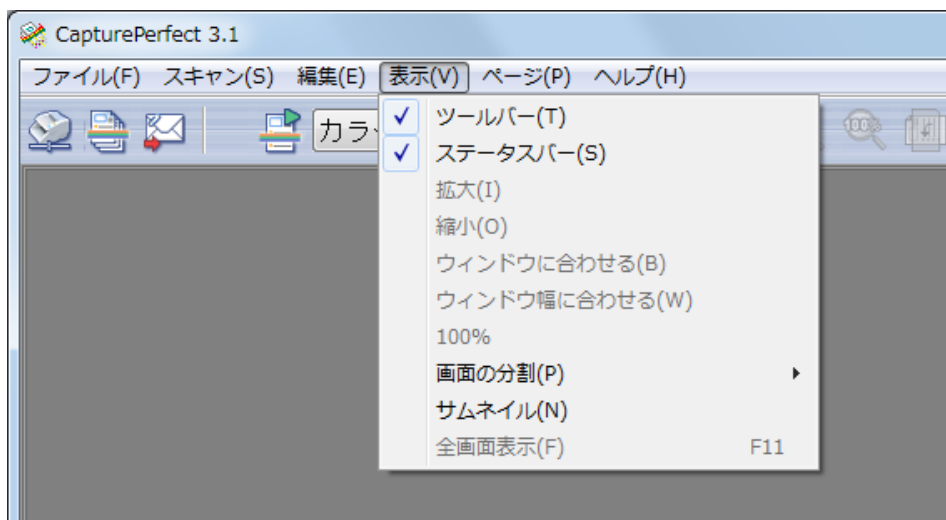
セキュリティの設定されている PDF ファイルを開いているときに有効になり、設定されているセキュリティを解除します。[セキュリティの解除 \(→ P. 89\)](#)

【バーコード / OCR の修正】

画像ファイルが開いているときに有効になり、【バーコード / OCR の修正】ダイアログボックスを表示して認識結果を修正します。[バーコード / OCR の修正について \(→ P. 40\)](#)

[表示]メニュー

[\[ファイル\]メニュー](#), [\[スキャン\]メニュー](#), [\[編集\]メニュー](#), [\[表示\]メニュー](#), [\[ページ\]メニュー](#), [\[ヘルプ\]メニュー](#), [ステータスバー](#)



[ツールバー]

ツールバーの表示 / 非表示を切り替えます。

[ステータスバー]

[ステータスバー \(→ P. 14\)](#) の表示 / 非表示を切り替えます。

[拡大] または ボタン

画像を拡大表示させます。

[表示] メニューの [拡大] を選択または [拡大] ボタンをクリックするたびに、画像が拡大表示されます。(最大 400%)

[縮小] または ボタン

画像を縮小表示させます。

[表示] メニューの [縮小] を選択または [縮小] ボタンをクリックするたびに、画像が縮小されます。(最小 10%)

[ウィンドウに合わせる] または ボタン

ウィンドウの大きさに合わせて画像全体を表示させます。

[ウィンドウ幅に合わせる] または ボタン

画像の幅をウィンドウの幅に合わせて表示させます。

[100%]

画像の 1 ドットをモニタの 1 ドットで表示させます。モニタに実際に表示される大きさは、モニタのサイズおよび解像度によって変わります。

【画面の分割】

画像表示ウィンドウを2画面または4画面に分割して表示させます。[ウィンドウを分割する \(→ P. 73\)](#)

画面の分割(P)	▶	✓	1
サムネイル(N)			2
全画面表示(F)	F11		4

【サムネイル】

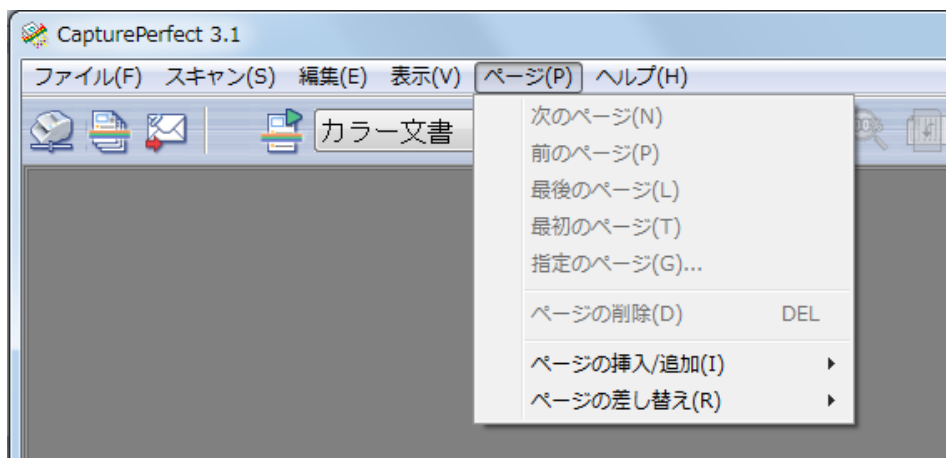
サムネイルウィンドウを開き、開いている画像を縮小表示させます。[サムネイルウィンドウを表示する \(→ P. 72\)](#)


【全画面表示】


開いている画像を全画面表示させます。全画面表示中は、マウスの右ボタンでサブメニューが表示され、表示状態を変更することができます。[「プレゼンテーションモードでスキャン」\(スキャンした画像を全画面表示で表示する\) \(→ P. 63\)](#)

【ページ】メニュー

[\[ファイル\]メニュー](#), [\[スキャン\]メニュー](#), [\[編集\]メニュー](#), [\[表示\]メニュー](#), [\[ページ\]メニュー](#), [\[ヘルプ\]メニュー](#), [ステータスバー](#)



【次のページ】 または  ボタン
次ページの画像を表示させます。

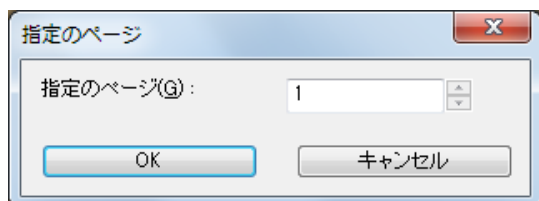
【前のページ】 または  ボタン
前ページの画像を表示させます。

【最後のページ】
最後のページの画像を表示させます。

【最初のページ】
最初のページの画像を表示させます。

[指定のページ]

ページを指定して画像を表示させます。



[ページの削除]

開いているページを削除します。

[ページの挿入 / 追加]

開いている画像ファイルにページを挿入 / 追加します。

追加するページは、スキャナーからの読み込み、または既存のファイルから選択します。[画像ファイルにページを挿入 / 追加する \(→ P. 82\)](#)

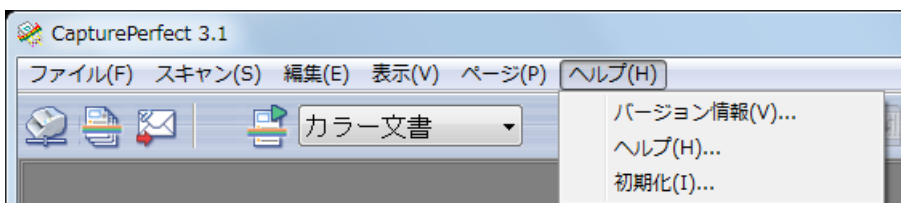
[ページの差し替え]

開いている画像ファイルのページを差し替えます。

差し替えるページは、スキャナーからの読み込み、または既存のファイルから選択します。[画像ファイルのページを差し替える \(→ P. 85\)](#)

[ヘルプ]メニュー

[\[ファイル\]メニュー](#), [\[スキャン\]メニュー](#), [\[編集\]メニュー](#), [\[表示\]メニュー](#), [\[ページ\]メニュー](#), [\[ヘルプ\]メニュー](#), [ステータスバー](#)



[バージョン情報]

CapturePerfect のバージョン情報が表示されます。

[ヘルプ] または ボタン

CapturePerfect のヘルプが表示されます。

[初期化]

[OK] をクリックすると、CapturePerfect の設定をすべて初期化します。

「『よく使う設定』も初期化する」チェックボックスをオンにして [OK] をクリックすると、「よく使う設定」の内容も初期化され、初期状態で登録されている設定だけが残ります。

ステータスバー

[\[ファイル\]メニュー](#), [\[スキャン\]メニュー](#), [\[編集\]メニュー](#), [\[表示\]メニュー](#), [\[ページ\]メニュー](#), [\[ヘルプ\]メニュー](#), ステータスバー

ステータスバーには、表示されている画像の表示倍率（%）、ページ数および、スキャナー設定（モード・解像度・用紙サイズ）が表示されます。

14% 1/1	スキャナー設定： 白黒 300 A4 - 210 x 297 mm
---------	-----------------------------------

メモ

CapturePerfect を起動した際、ステータスバーは “---” で表示されます。

スキャナーの選択と設定

スキャナーの選択

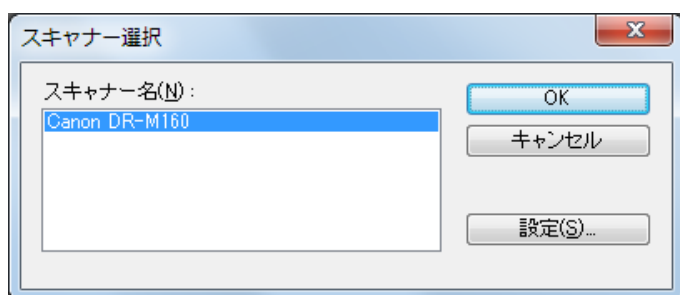
CapturePerfect を使用する前に、以下の手順にしたがって、CapturePerfect で使用するスキャナーを選択します。選択されたスキャナーの設定は、他のスキャナーが選択されるまで保持されます。

⚠ 重要

使用するスキャナーがコンピュータと正しく接続されていること、スキャナーとコンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。詳細は、お使いのスキャナーの取扱説明書を参照してください。

1 [スキャン] メニューの [スキャナーの選択] を選択します。

[スキャナー選択] ダイアログボックスが表示されます。



💡 メモ

ダイアログボックスにスキャナー名が表示されない場合、お使いのスキャナーの ISIS/TWAIN ドライバのインストールを行ってください。

2 使用するスキャナーを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

[スキャナー選択] ダイアログボックスが閉じて、スキャナーの選択が完了します。

スキャナーの設定

原稿をスキャンする前に、スキャナーの設定を行います。設定した内容は、変更するまで保持されます。

1 [スキャン] メニューの [スキャナーの設定] または、 ボタンをクリックします。

スキャナーの設定ダイアログボックスが表示されます。

💡 メモ

- 表示される設定ダイアログボックスはスキャナーによって変更します。
- スキャナーの設定は、スキャンを実行する際の設定ダイアログボックスで設定することもできます。[スキャン方法 \(→ P. 48\)](#)
- 長尺モード使用時は、機能の一部が制限されることがあります。

2 読み取り条件などの設定を行います。

設定内容については、設定ダイアログボックスにある [ヘルプ] ボタンをクリックしてドライバのヘルプを参照してください。

3 [OK]ボタンをクリックして設定を終了します。

保存される画像ファイルについて

ここでは、CapturePerfect で保存できる画像のファイル形式とファイル名の定義および、マルチページファイルについて説明します。

保存できるファイル形式について

CapturePerfect でスキャンした画像は、TIFF ファイル（* .tif）、BMP ファイル（* .bmp）、JPEG ファイル（* .jpg）、PDF ファイル（* .pdf）、PowerPoint（* .pptx）、PNG ファイル（* .png）の 6 種類のファイル形式で保存できます。ただし、JPEG ファイル（* .jpg）は、スキャナー設定時に指定した読み取りのモードが「256 階調グレイ」、[24 ビットカラー] または [カラー白黒検知] の場合に有効です。

読み取りのモード	保存できるファイル形式					
	TIFF	BMP	PDF	JPEG	Power Point	PNG
「白黒」	○	○	○	×	×	○
「誤差拡散」	○	○	○	×	×	○
「テキストエンハンス」	○	○	○	×	×	○
「アドバンスド テキスト エンハンスメント」	○	○	○	×	×	○
「アドバンスド テキスト エンハンスメント II」	○	○	○	×	×	○
「高速テキスト エンハンスメント」	○	○	○	×	×	○
「256 階調グレイ」	○	○	○	○	○	○
「24 ビットカラー」	○	○	○	○	○	○
「カラー白黒検知」	○	○	○	○	×	○

メモ

- ・ 選択できる読み取りのモードは、スキャナーによって異なります。
- ・ 「JPEG ファイル（* .jpg）」を選択した場合は、[ファイルの詳細設定] で設定した画像の品質が適用されます。詳細は、[「JPEG 圧縮を設定する（→ P. 21）」](#)を参照してください。
- ・ [カラー白黒検知] で「JPEG ファイル（* .jpg）」を選択した場合、白黒画像は CCITT_グループ 4 で圧縮された TIFF ファイルで保存され、カラー画像は [ファイルの詳細設定] で設定した画像の品質が適用された JPEG ファイルで保存されます。
- ・ 「PDF ファイル（* .pdf）」を選択した場合は、[ファイルの詳細設定] で設定した圧縮率などが適用されます。詳細は、[「PDF ファイルの保存方法を設定する（→ P. 19）」](#)を参照してください。

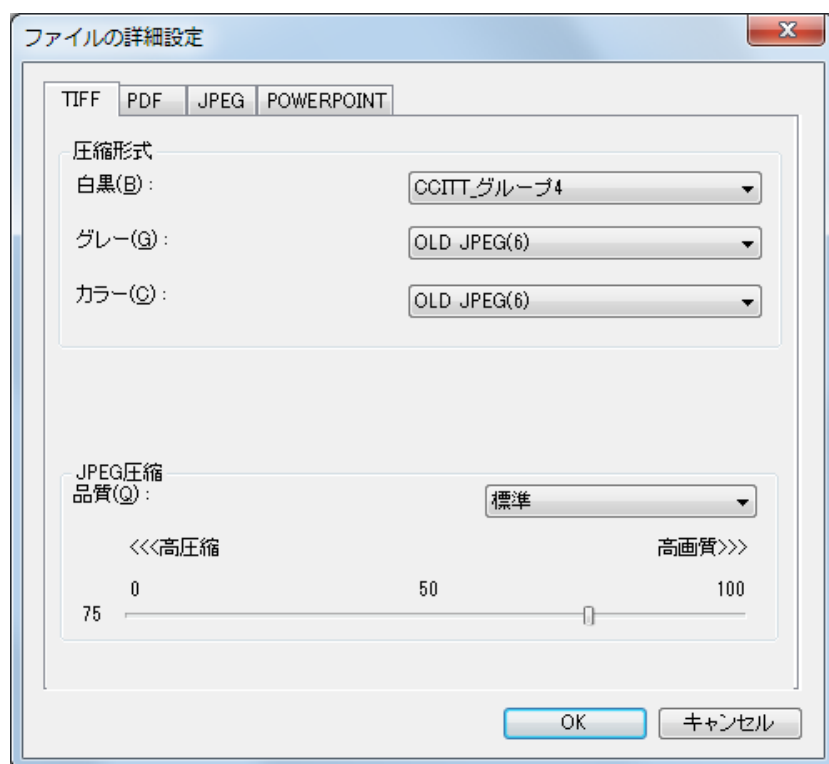
ファイル形式別の設定

ファイル形式によって以下の設定があります。設定は、[ファイルの詳細設定] で、ファイル形式を選択して設定します。

TIFF ファイルの圧縮形式を設定する

「名前を付けて保存」でファイルの種類を [TIFF ファイル（* .tif）] にした場合、ここで指定した圧縮形式が適用されます。

1 [ファイルの詳細設定] の [TIFF] タブを選択します。



メモ

[ファイルの詳細設定] は、以下の画面で表示されます。

- 「スキャンしてファイルに保存」 [\(→ P. 50\)](#)
- 「スキャンしてメール」 ダイアログボックス [\(→ P. 55\)](#)
- 「スキャンして SharePoint サーバーに送信」 ダイアログボックス [\(→ P. 58\)](#)
- 「ページ挿入 / 追加—スキャナーから」 ダイアログボックス [\(→ P. 83\)](#)
- 「ページ差し替え—スキャナーから」 ダイアログボックス [\(→ P. 86\)](#)

2 以下の設定を行います。

• [圧縮形式]

リストボックスから圧縮形式を選択します。

画像の種類が白黒の場合「CCITT_グループ 4」、画像の種類がグレースケールおよびカラーの場合「OLD JPEG (6)」または「JPEG (7)」を選択できます。圧縮を「なし」にした場合、保存されるファイルサイズが大きくなります。

メモ

- 「CCITT_グループ 4」
FAX 機器などのデータ通信で使用されている圧縮形式で、白黒 2 値画像の圧縮形式として使用されます。
- 「OLD JPEG (6)」、「JPEG (7)」
グレースケールやカラー画像の保存に使用されている圧縮形式です。「OLD JPEG (6)」または、「JPEG (7)」を選択した場合、[JPEG 圧縮] ダイアログボックスの設定値が適用されます。

⚠ 重要

- 「OLD JPEG (6)」は、Windows 2000 以前の Windows にバンドルされている「イメージング」でサポートされている JPEG 形式で、Windows XP にバンドルされている「Windows 画像と FAX ビュアー」ではサポートされていません。
- 「JPEG (7)」は、Windows 2000 以前の Windows にバンドルされている「イメージング」ではサポートされていません。
- CapturePerfect でサポートされている圧縮形式は、他のアプリケーションでサポートされていない場合があります。CapturePerfect で保存した TIFF ファイルが他のアプリケーションで開けない場合には、圧縮を「なし」にして保存しなおしてください。

• [JPEG 圧縮]

[圧縮形式] で「OLD JPEG(6)」または「OLD JPEG(7)」を選択した場合の画像品質を設定します。

[JPEG 圧縮を設定する \(→ P. 21\)](#)

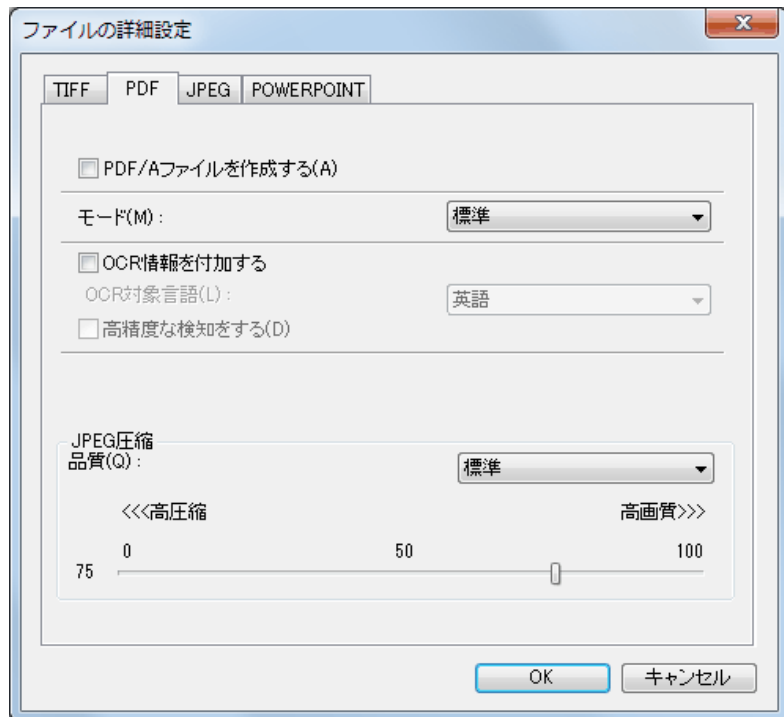
3 [OK]ボタンをクリックします。

[ファイルの詳細設定] ダイアログボックスが閉じます。

PDF ファイルの保存方法を設定する

スキャンした画像を PDF ファイル (* .pdf) で保存する場合の圧縮率や OCR 対象言語などの保存方法を設定します。

1 [ファイルの詳細設定] の [PDF] タブを選択します。



メモ

[ファイルの詳細設定] は、以下の画面で表示されます。

- 「スキャンしてファイルに保存」 [\(→ P. 50\)](#)
- 「スキャンしてメール」 ダイアログボックス [\(→ P. 55\)](#)
- 「スキャンして SharePoint サーバーに送信」 ダイアログボックス [\(→ P. 58\)](#)
- 「ページ挿入 / 追加ースキャナーから」 ダイアログボックス [\(→ P. 83\)](#)
- 「ページ差し替えースキャナーから」 ダイアログボックス [\(→ P. 86\)](#)

2 以下の設定を行います。

- [PDF/A ファイルを作成する]
このチェックボックスをオンにすると、PDF/A ファイルを作成します。モードは[標準]に固定されます。[OCR 対象言語] で日本語、日本語と英語、中国（簡）語、中国（繁）語、トルコ語のいずれかを選択している場合、PDF/A ファイルは作成できません。
- [モード]
PDF ファイルの圧縮率を選択します。
 - [高圧縮]
ファイルが高圧縮で保存されます。画質は悪くなりますがファイルのサイズは小さくなります。
 - [標準]
ファイルが標準圧縮で保存されます。
 - [文字優先]
文字の可読性を損なわないように、文字以外の部分だけが圧縮されて保存されます。

メモ

モードの設定は、スキャナー設定時に指定した読み取りのモードが [256 階調グレー] または [24 ビットカラー] の場合、あるいは [カラー白黒検知] でカラー原稿を検知した場合に有効です。読み取りのモードで [白黒]、[誤差拡散] などの 2 値画像を選択した場合、読み取る原稿によりファイルのサイズが変わります。

- [OCR 情報を付加する]
このチェックボックスをオンにすると、画像の中の活字部分が認識され、認識された部分にテキストデータが付加された状態で保存されます。
- [OCR 対象言語]
[OCR 情報を付加する] チェックボックスをオンにした場合は、読み取る活字の対象となる言語をリストボックスの中から選択します。
- [高精度な検知をする]
[OCR 情報を付加する] チェックボックスがオンの場合に設定できます。オンにすると、[OCR 対象言語] で指定した言語について、画像の中の白抜きされた活字部分を認識するなど、より精度が高い検知を実行します。

メモ

- OCR 情報を付加した PDF ファイル (* .pdf) には、画像として取り込まれた原稿の文字列が文字認識されてテキストデータとして保存されています。
- [OCR 情報を付加する] をオンにすると、スキャナードライバの [斜行補正] の設定に拘わらず斜行補正を行います。読み取りサイズより小さい原稿をスキャンしたときや、TWAIN ドライバの設定で [マージン] を広く設定したときに、画像が左上に寄せられます。

- [OCR 情報を付加する] をオンにすると、原稿によっては画像の一部が欠けることがあります。
このようなときは、[OCR 情報を付加する] をオフにしてください。
- 長尺モード使用時などは、OCR 認識結果が付加されない場合があります。

- [高速転送する]

[高速転送する] は、お使いのスキャナーが JPEG 転送に対応している場合に有効です。選択したスキャナーによっては、表示されなかったり、グレーで表示されて選択できないようになりしたりします。

スキャナー設定時に指定した読み取りのモードが [256 階調グレー] または [24 ビットカラー] の場合に、スキャナーで読み取った画像を JPEG 圧縮してコンピューターに転送します。

- [JPEG 圧縮]

[高速転送する] をオンにした場合の画像品質を設定します。[JPEG 圧縮を設定する \(→ P. 21\)](#)

3 [OK] ボタンをクリックします。

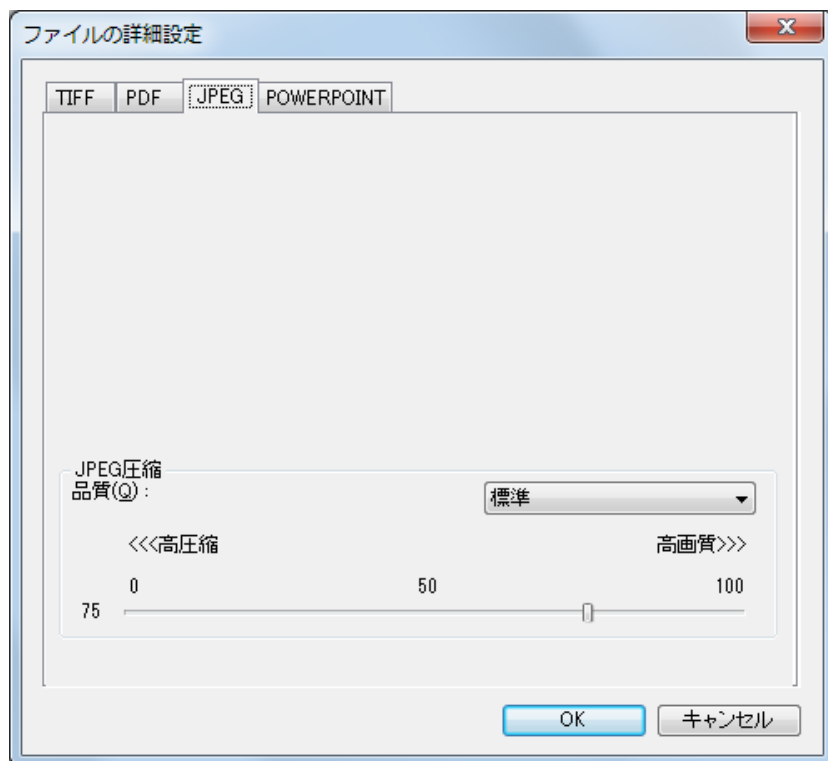
[ファイルの詳細設定] ダイアログボックスが閉じます。

JPEG 圧縮を設定する

スキャンした画像を JPEG ファイルで保存する場合や、PDF ファイル設定で [高速転送する] をオンにした場合、TIFF ファイル設定で「OLD JPEG (6)」または「JPEG (7)」を選択した場合の画像品質を設定します。設定する画像品質によってファイルサイズは変化します。

ここでの設定内容は、スキャナー設定と連動しています。

1 [ファイルの詳細設定] の [JPEG] タブを選択します。



メモ

[ファイルの詳細設定] は、以下の画面で表示されます。

- 「スキャンしてファイルに保存」 [\(→ P. 50\)](#)
- 「スキャンしてメール」ダイアログボックス [\(→ P. 55\)](#)
- 「スキャンして SharePoint サーバーに送信」ダイアログボックス [\(→ P. 58\)](#)
- 「ページ挿入 / 追加ースキャナーから」ダイアログボックス [\(→ P. 83\)](#)
- 「ページ差し替えースキャナーから」ダイアログボックス [\(→ P. 86\)](#)

2 以下の設定を行います。

[品質]

ファイルを保存するときの品質を次の項目の中から選択します。リストボックスから項目を選択すると、スライダの値も変化します。

[品質] の設定値	スライダの値	画質	ファイルサイズ
[高画質]	90 (自動)	高	大
[標準]	75 (自動)	標準	標準
[高圧縮]	10 (自動)	低	小
[ユーザー設定]	スライダを手動で設定	メモ参照	メモ参照

メモ

画質優先で高画質にした場合、保存時の画質は良くなりますがファイルサイズが大きくなります。逆に、ファイルサイズ優先で高圧縮にした場合、保存時の画質は悪くなりますがファイルサイズは小さくなります。

3 [OK]ボタンをクリックします。

[ファイルの詳細設定] ダイアログボックスが閉じます。

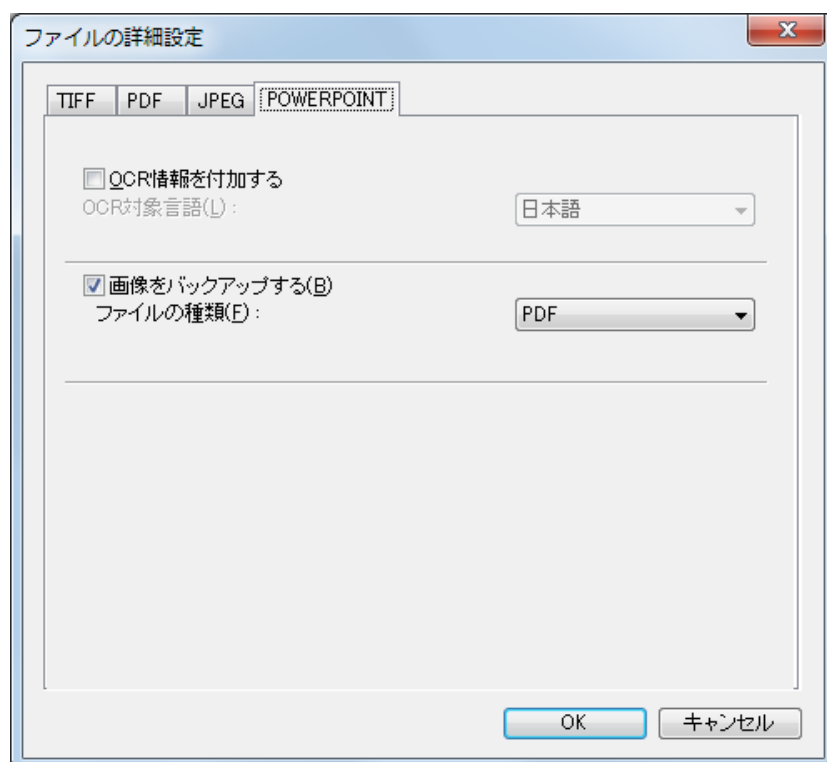
PowerPoint ファイルの保存方法を設定する

スキャンした画像を PowerPoint ファイル (* .pptx) で保存する場合の OCR 対象言語や、画像をバックアップする場合のファイル形式などを設定します。

メモ

- スキャニング時の解像度が 300dpi の場合のみ、PowerPoint ファイルで保存できます。
- PowerPoint ファイルで保存できる用紙サイズは、A4 サイズまでです。ただしスキャナー設定で用紙サイズに [自動検知] を選択している場合、A4 サイズの原稿でもエラーが出る場合があります。
- スキャナー設定の [カラーモード] で「24 ビットカラー」または「256 階調グレー」以外の読み取りモードが選択されている場合、PowerPoint 形式ではスキャンできません。

1 [ファイルの詳細設定] の [POWERPOINT] タブを選択します。



メモ

[ファイルの詳細設定] は、以下の画面で表示されます。

- 「スキャンしてファイルに保存」 [\(→ P. 50\)](#)
- 「スキャンしてメール」 ダイアログボックス [\(→ P. 55\)](#)
- 「スキャンして SharePoint サーバーに送信」 ダイアログボックス [\(→ P. 58\)](#)
- 「ページ挿入 / 追加—スキャナーから」 ダイアログボックス [\(→ P. 83\)](#)
- 「ページ差し替え—スキャナーから」 ダイアログボックス [\(→ P. 86\)](#)

2 以下の設定を行います。

- [OCR 情報を付加する]
このチェックボックスをオンにすると、画像の中の活字部分が認識され、認識された部分にテキストデータが付加された状態で保存されます。
- [OCR 対象言語]
[OCR 情報を付加する] チェックボックスをオンにした場合は、読み取る活字の対象となる言語をリストボックスの中から選択します。

メモ

- OCR 情報を付加した PowerPoint ファイル（* .pptx）には、画像として取り込まれた原稿の文字列が文字認識されてテキストデータとして保存されています。
- [OCR 情報を付加する] をオンにすると、スキャナードライバの [斜行補正] の設定に拘わらず斜行補正を行います。読み取りサイズより小さい原稿をスキャンしたときや、TWAIN ドライバの設定で [マージン] を広く設定したときに、画像が左上に寄せられます。
- [OCR 情報を付加する] をオンにすると、原稿によっては画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、[OCR 情報を付加する] をオフにしてください。

- [画像をバックアップする]

このチェックボックスをオンにすると、PowerPoint ファイルの他に、バックアップ用の画像ファイルを作成します。

- [ファイルの種類]

[画像をバックアップする] がオンの場合、作成するバックアップファイルの形式（TIFF、BMP、PDF、PNG、JPEG）を選択します。ただし、JPEG ファイル（* .jpg）は、スキャナー設定時に指定した読み取りのモードが [256 階調グレー]、[24 ビットカラー] または [カラー白黒検知] の場合に有効です。

ただし、以下の 2 つの条件を両方とも満たす場合は、スキャン時にエラーメッセージが表示されます。

- バックアップファイルの形式で BMP または JPEG を指定している。
- 「複数ページの保存設定」で、「全てのページを 1 つのファイルにする」または「指定ページ数ごとに 1 つのファイルにする」を選択している。

- [高速転送する]

[高速転送する] は、お使いのスキャナーが JPEG 転送に対応している場合に有効です。選択したスキャナーによっては、表示されなかったり、グレーで表示されて選択できないようになりしたりします。

スキャナー設定時に指定した読み取りのモードが [256 階調グレー] または [24 ビットカラー] の場合に、スキャナーで読み取った画像を JPEG 圧縮してコンピューターに転送します。

3 [OK]ボタンをクリックします。

[ファイルの詳細設定] ダイアログボックスが閉じます。

マルチページファイルについて

[スキャンして保存（→ P. 50）](#)、[スキャンしてメール（→ P. 55）](#)、[スキャンして SharePoint サーバーに送信（→ P. 58）](#) でスキャンする際、または、[開いている画像を保存（→ P. 75）](#) するときに、ファイルの種類で TIFF ファイル（* .tif）、PDF ファイル（* .pdf）を指定すると、複数の画像を 1 つのファイルに保存することのできる「複数ページ」が指定できます。

複数ページの設定

複数ページの設定は、[スキャンして保存（→ P. 50）](#)、[スキャンしてメール（→ P. 55）](#)、[スキャンして SharePoint サーバーに送信（→ P. 58）](#) でスキャンするときの設定ダイアログボックスで設定します。

複数ページの設定は、設定ダイアログボックスのファイルの種類で、BMP ファイル（* .bmp）、JPEG ファイル（* .jpg）、PNG ファイル（* .png）または、TIFF ファイル（* .tif）、PDF ファイル（* .pdf）、PowerPoint ファイル（* .pptx）を選択したときで、設定内容が変わります。

BMP ファイル(*.bmp)、JPEG ファイル(*.jpg)、PNG ファイル(*.png)を選択したとき

複数ページの保存設定(M):	1ページごとに1つのファイルにする
ページ数の指定(P):	1ページごとに1つのファイルにする

リストボックスには、[1ページごとに1つのファイルにする]のみ表示され、1画像1ファイルで保存されます。さらに、[ファイル/フォルダー名のルールを使用する]をオンにして、[ファイル名]で指定したファイル名にスキャンしたときの情報を付加することができます。[ファイル名/フォルダー名の設定](#) (→ P. 26)

TIFF ファイル(*.tif)、PDF ファイル(*.pdf)、PowerPoint ファイル(*.pptx)を選択したとき

複数ページの保存設定(M):	1ページごとに1つのファイルにする
ページ数の指定(P):	1ページごとに1つのファイルにする 全てのページを1つのファイルにする 指定ページ数ごとに1つのファイルにする

☐ ファイル/フォルダー名のルールを使用

- 1ページごとに1つのファイルにする
スキャンした複数ページの画像を、1画像1ファイルで保存します。
- 全てのページを1つのファイルにする
スキャンした複数ページのすべての画像を、1つのマルチページファイルに保存します。
- 指定ページ数ごとに1つのファイルにする
[ページ数の指定]が有効になり、スキャンした複数ページの画像を、指定したページ数ごとに分割された複数のマルチページファイルに保存します。

リストボックスに、[全てのページを1つのファイルにする]と[指定ページ数ごとに1つのファイルにする]が表示され、複数ページの画像を1ファイルに保存することができます。

◆ メモ

[指定ページ数ごとに1つのファイルにする]を選択すると、[ページ数の指定]で指定したページ数ごとに分割した複数のマルチページファイルに保存されます。また、[スキャンして保存設定ダイアログボックス](#) (→ P. 50) のファイル区切りタイプの設定が「なし」になります。

複数ページの保存設定(M):	指定ページ数ごとに1つのファイルにする
ページ数の指定(P):	2

保存されるファイル名について

ここでは、CapturePerfect でスキャンして保存される画像のファイル名の定義と制限について説明します。

ファイル名の定義について

ファイル形式として、TIFF ファイル (* .tif)、PDF ファイル (* .pdf)、PowerPoint ファイル (* .pptx) を選択し、複数ページの設定で「全てのページを1つのファイルにする」または「指定ページ数ごとに1つのファイルにする」を指定した場合、複数ページの画像が1つのファイルで保存されます。[マルチページファイルについて \(→ P. 24\)](#)

ファイル名 / フォルダー名の設定

ここでの設定は、[複数ページの設定 \(→ P. 24\)](#) で、「1ページごとに1つのファイルにする」を選択したときに保存されるファイル / フォルダー名に必ず適用され、設定を行わない場合でも、指定された桁数（初期値は、4桁）のカウンタが指定したファイル名に必ず付加されます。 例) docs0001.tif

ファイル/フォルダー名のルール設定

ファイル フォルダー 変換

ファイル名(例)

0001

☐ 以下の値を使用する(L)

☐ バーコード(B): 検知した文字列 未検出時(N): \$\$\$

☒ OCR(Q): 検知した文字列 未検出時(U): \$\$\$

☐ インプリンター/アドオン(I):

☐ 日付(D): YYYYMMDDI

☐ 読取面(F)

☐ 読取モード(M)

☐ 解像度(R)

☐ ドロップアウト(D)

☐ 区切り文字を挿入(S): _

☒ カウンター(C)

☐ 自動でカウンター値を付ける(A)

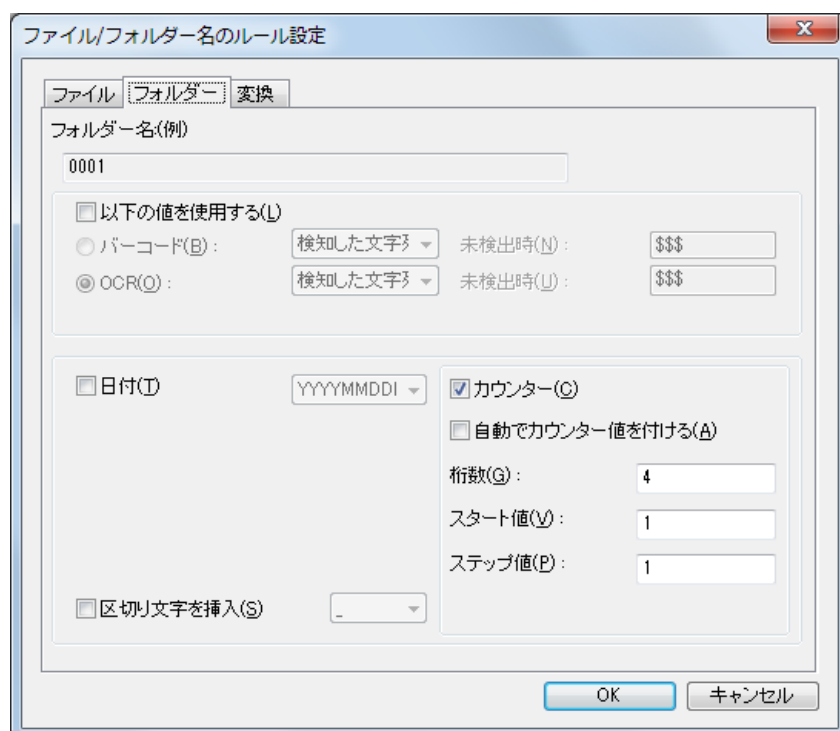
桁数(G): 4

スタート値(V): 1

ステップ値(P): 1

リセット値(E): 1

OK キャンセル



ファイル名の設定

[ファイル/フォルダー名のルール設定] ダイアログボックスで、付加する情報のチェックボックスをチェックすると、チェックされた情報が、保存されるファイル名に自動的に付加されます。

- チェックボックスをチェックすると、ファイル名：（例）が、変化します。
- マルチストリーム設定で行うファイル名の設定では、指定したファイル名の後に、“Prim”、“Seco”、または“Tert”が付加されます。

Prim0001

付加される文字列は、チェックした項目別に以下ようになります。

- [カウンター] のチェックを外すことはできません。ただし、[バーコード]、[インプリンター/アドオン]、[OCR]、[日付] のいずれかが有効の場合を除きます。
- [バーコード]、[インプリンター/アドオン]、[OCR] は、同時にチェックすることはできません。
- 「バーコード」は、スキャナーが対応しているときに有効になり、読み取り設定でバーコード検知が有効になっている場合に、最大4つのバーコードの認識結果が付加されます。ただし、付加されるのは64文字までです。
- 「OCR」をチェックすると、OCR認識が有効になり、文字認識した文字列の先頭から64文字が付加されます。

- ・[バーコード] または [OCR] の値を使用する場合は、リストボックスの中から、検知した文字列をファイル名に付加する方法を指定できます。
 - － [検知した文字列を使用する]
検知した文字列をファイル名に使用します。ファイル名に使用できない文字はアンダーバーになります。
 - － [文字列を検知しなかったら前の画像で検知した文字列を使用する]
文字列を何も検知しなかった場合、前の画像で検知した文字列を引き継いでファイル名に使用します。1 枚目が何も検知しなかった場合は、文字列を付加しません。
 - － [変換ルールに従う]
検知した文字列を、あらかじめ設定している変換テーブルに従って変換し、その変換後の文字列でファイル名を作成します。
 - － [未検出時]
文字列を何も検出しなかった場合に、ファイル名に付加する文字列を 8 文字まで指定します。[検知した文字列を使用する] を選択したときのみ設定できます。
- ・「インプリンター / アドオン」はスキャナーが対応している場合にのみ有効になります。インプリンターで印字する文字列の先頭から 64 文字、またはアドオンした文字列が付加されます。
- ・「日付」は、スキャン時の年月日時分秒ミリ秒が最大 17 桁の数字で付加されます。リストボックスの中から付加する日付の方法を指定できます。
- ・「読取面」は、表面の画像に [Fron]、裏面の画像に [Back] が付加されます。
- ・「読取モード」、「解像度」、「ドロップアウト」は、指定した条件下表の文字列が付加されます。

ファイル名の設定	ドライバの設定	ファイル名に付加される文字列
読取モード	白黒	Bina
	誤差拡散	Erro
	テキストエンハンス	Text
	アドバンスドテキストエンハンスメント	ATex
	アドバンスドテキストエンハンスメント II	ATx2
	高速テキストエンハンスメント	FTex
	256 階調グレー	Gray
	24 ビットカラー	Colo
	カラー白黒検知	Bina、Colo、または Gray
解像度	100 dpi	100
	150 dpi	150
	200 dpi	200
	240 dpi	240
	300 dpi	300
	400 dpi	400
	600 dpi	600
	1200 dpi	1200
ドロップアウト	なし	None
	ドロップアウトカラー赤	DRed
	ドロップアウトカラー緑	DGre
	ドロップアウトカラー青	DBlu
	ドロップアウトカラーカスタム	DCus
	赤強調	ERed
	緑強調	EGre
	青強調	EBlu
	カスタムカラー強調	ECus
	有彩色ドロップアウト	DCol

カラー白黒検知の場合は、検知した形式の変換例が付加されます。

- ・「区切り文字を挿入」をチェックすると、ファイル名に付加する文字列と文字列の間に、リストボックスから選択した区切り文字を挿入できます。項目間ごとに異なる区切り文字を設定することはできません。
- ・「カウンター」は、[桁数]、[スタート値]、[ステップ値] で指定されたカウンターが付加されます。
- ・カウンターは、[スタート値] で設定された値からスタートします。「自動でカウンター値を付ける」をチェックすると、該当するフォルダー内にあるファイルの中でカウンター部以降を除いた部分の名前が全て一致するファイルを検索し、一番大きい番号を検知して、その次の番号を自動で付加します。

フォルダー名の設定

[ファイル/フォルダー名のルール設定] ダイアログボックスで、付加する情報のチェックボックスをチェックすると、チェックされた情報が、保存されるフォルダー名に自動的に付加されます。

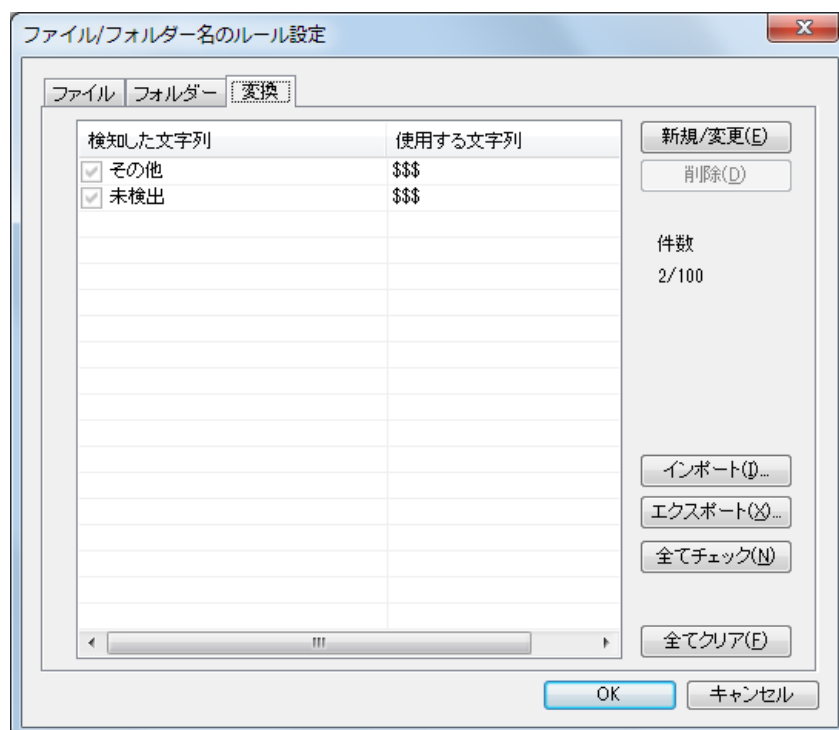
- ・チェックボックスをチェックすると、フォルダー名：(例) が、変化します。

付加される文字列は、チェックした項目別に以下ようになります。

- ・[カウンター] のチェックを外すことはできません。ただし、[バーコード]、[OCR]、[日付] のいずれかが有効の場合を除きます。
- ・[バーコード]、[OCR] は、同時にチェックすることはできません。
- ・「バーコード」は、スキャナーが対応しているときに有効になり、読み取り設定でバーコード検知が有効になっている場合に、最大4つのバーコードの認識結果が付加されます。ただし、付加されるのは64文字までです。
- ・「OCR」をチェックすると、OCR認識が有効になり、文字認識した文字列の先頭から64文字が付加されます。
- ・[バーコード] または [OCR] の値を使用する場合は、リストボックスの中から、検知した文字列をフォルダー名に付加する方法を指定できます。
 - － [検知した文字列を使用する]
検知した文字列をフォルダー名に使用します。フォルダー名に使用できない文字はアンダーバーになります。パッチコードが印刷されている原稿で検知した文字列をフォルダー名に使用したい場合は、PATCH T (FILE A) を使用してください。
 - － [文字列を検知しなかったら前の画像で検知した文字列を使用する]
文字列を何も検知しなかった場合、前の画像で検知した文字列を引き継いでフォルダー名に使用します。1枚目が何も検知しなかった場合は、文字列を付加しません。
 - － [変換ルールに従う]
検知した文字列を、あらかじめ設定している変換テーブルに従って変換し、その変換後の文字列でフォルダー名を作成します。
 - － [未検出時]
文字列を何も検出しなかった場合に、フォルダー名に付加する文字列を8文字まで指定します。
[検知した文字列を使用する] を選択したときのみ設定できます。
- ・「日付」は、スキャン時の年月日時分秒ミリ秒が最大17桁の数字で付加されます。リストボックスの中から付加する日付の方法を指定できます。
- ・「区切り文字を挿入」をチェックすると、フォルダー名に付加する文字列と文字列の間に、リストボックスから選択した区切り文字を挿入できます。項目間ごとに異なる区切り文字を設定することはできません。
- ・[カウンター] は、[桁数]、[スタート値]、[ステップ値] で指定されたカウンターが付加されます。
- ・カウンターは、[スタート値] で設定された値からスタートします。「自動でカウンター値を付ける」をチェックすると、該当するフォルダー内にあるファイルの中でカウンター部以降を除いた部分の名前が全て一致するファイルを検索し、一番大きい番号を検知して、その次の番号を自動で付加します。

変換の設定

検知した文字列を別の文字列に変換して、ファイル名 / フォルダ一名とすることができます。ここでは、変換に適用されるルールを設定します。



- ・「検知した文字列」でチェックした項目が検知されると、指定の文字列に変換されます。［全てチェック］または［全てクリア］ボタンで、全項目のチェックオン/オフを切り替えることができます。
- ・［新規/変更］ボタンをクリックすると、変換対象の文字列の追加、または既存の文字列の変更ができます。100 件までの文字列を指定できます。登録済みの文字列は、［削除］ボタンをクリックして削除できます。
- ・［インポート］ボタンをクリックすると、所定の形式で作成されたファイルから文字列のデータを読み込みます。
- ・［エクスポート］ボタンをクリックすると、文字列のデータを所定の形式で保存します。

ファイル名の制限について

画像ファイルを保存する場合、保存するファイル名およびフォルダーのパス名は、絶対パス名で 200 文字以内にしてください。絶対パス名で、200 文字を超えるファイル名では保存できません。

マルチストリーム機能について

マルチストリーム機能は、お使いのスキャナーがマルチストリーム機能に対応している場合に有効で、一回のスキャンで、カラーと白黒、グレーと白黒など種類の異なる画像データを出力したり、表裏で異なった種類の画像データを出力することができます。

マルチストリーム設定は、お使いのスキャナーがマルチストリーム機能に対応している場合に表示または有効になり、[オプション設定] の [マルチストリーム] タブで設定します。

メモ

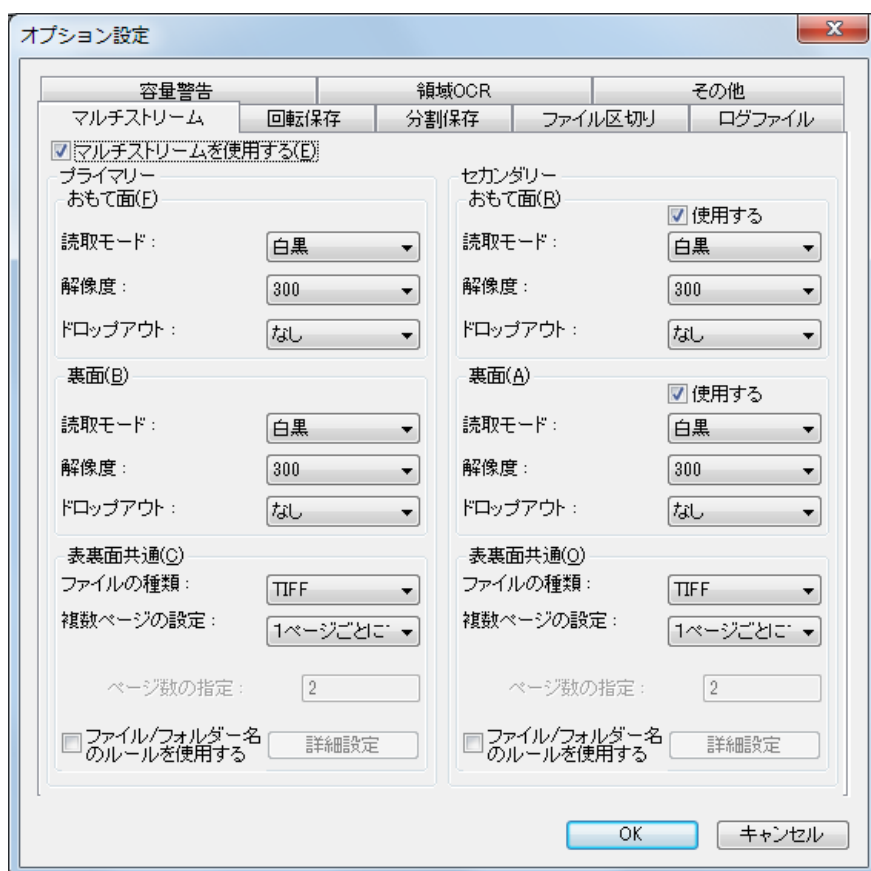
スキャナーの設定で [カラーモード] を [カラー白黒検知] または [解像度] を [自動で検知する] にしているときは、マルチストリーム機能は無効になります。

マルチストリーム設定について

1 [オプション設定] の [マルチストリーム] タブを選択します。

メモ

- マルチストリームを有効にすると、[オプション設定] - [マルチストリーム] タブ以外で設定したファイルの種類と複数ページの保存設定は無効になります。
- [オプション設定] は、以下の画面で [オプションの詳細設定] をクリックすると表示されます。
 - 「スキャンしてファイルに保存」 ダイアログボックス ([→ P. 50](#))
 - 「スキャンしてメール」 ダイアログボックス ([→ P. 55](#))
 - 「スキャンして SharePoint サーバーに送信」 ダイアログボックス ([→ P. 58](#))
 - 「ページ挿入 / 追加ースキャナーから」 ダイアログボックス ([→ P. 83](#))
 - 「ページ差し替えースキャナーから」 ダイアログボックス ([→ P. 86](#))
 - 「スキャン継続」 ダイアログボックス ([→ P. 47](#))



2 マルチストリーム出力の設定を行います。

- セカンダリー画像の設定
セカンダリー画像は、[使用する] チェックボックスをチェックすると設定が有効になります。
- 読み取り条件（読み取りモード、解像度、ドロップアウト）の設定
読み取り条件の選択肢は、選択したスキャナーによって変わります。詳細については、お使いのスキャナーの ISIS/TWAIN ドライバのヘルプを参照してください。
- ファイルの種類
保存するファイル形式（TIFF, BMP, PDF, JPEG）を選択します。ただし、[JPEG] はイメージ形式が [256 階調グレイ] または [24 ビットカラー] の場合に表示されます。[保存される画像ファイルについて（→ P. 17）](#)
- 複数ページの設定
ファイルの種類に合わせて、マルチページの設定をします。[複数ページの設定（→ P. 24）](#)
- ファイル名 / フォルダー名の設定
[ファイル / フォルダー名のルールを使用する] チェックボックスをチェックして、ファイル / フォルダー名の付け方のルールを設定できます。
[詳細設定] ボタンをクリックすると [ファイル / フォルダー名のルール設定] ダイアログボックスが表示されます。[保存されるファイル名について（→ P. 26）](#)

3 [OK]ボタンをクリックします。

[オプション設定] ダイアログボックスが閉じます。

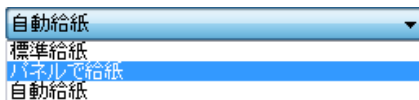
メモ

- スキャナーによっては、マルチストリームを使用する場合、「半折り」「白紙スキップ」「プレスキャン」「文字向き検知」「パッチコード(ファイル区切り)」を使用することができません。
- DR-7080C または DR-7090C のスキャナーの設定で「給紙オプション」を「標準給紙」に設定した場合、フラットベッドでスキャンした画像に対してマルチストリーム出力機能は無効になります。フラットベッドでスキャンした画像に対してマルチストリーム出力機能を有効にする場合には、「給紙オプション」で「パネルで給紙」を指定してください。

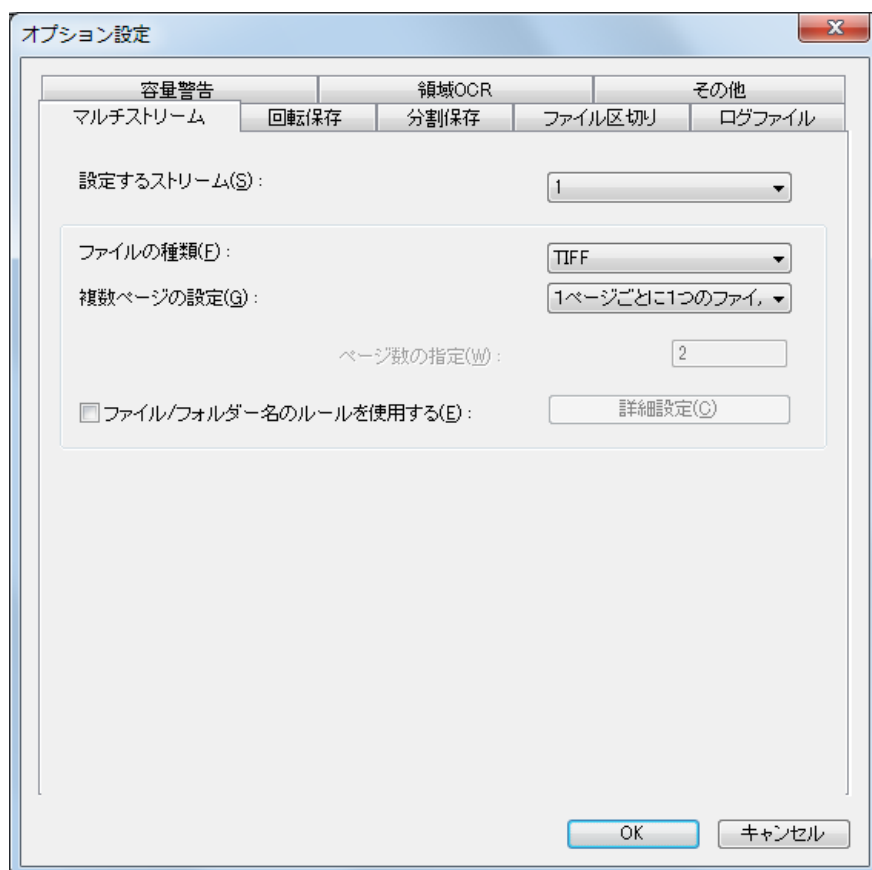
給紙オプション(O):

☐ 薄紙モード(T)

☐ オプションのインストール



- マルチストリームダイアログ対応スキャナードライバでは、設定項目は以下のようになります。



- [設定するストリーム]
ストリームを指定します。
- [ファイルの種類]
保存するファイル形式（TIFF、BMP、PDF、JPEG）を選択します。ただし、[JPEG] はイメージ形式が [256 階調グレイ] または [24 ビットカラー] の場合に表示されます。[保存される画像ファイルについて（→ P. 17）](#)
- [複数ページの設定]
ファイルの種類に合わせて、マルチページの設定をします。[複数ページの設定（→ P. 24）](#)
- [ファイル / フォルダー名のルールを使用する]
ファイル / フォルダー名の付け方のルールを設定できます。[保存されるファイル名について（→ P. 26）](#)

OCR 機能について

CapturePerfect には、スキャンした画像内にある文字の部分文字情報を認識することのできる OCR 機能が用意されています。文字認識は、[オプション設定] の [領域 OCR] タブで設定します。

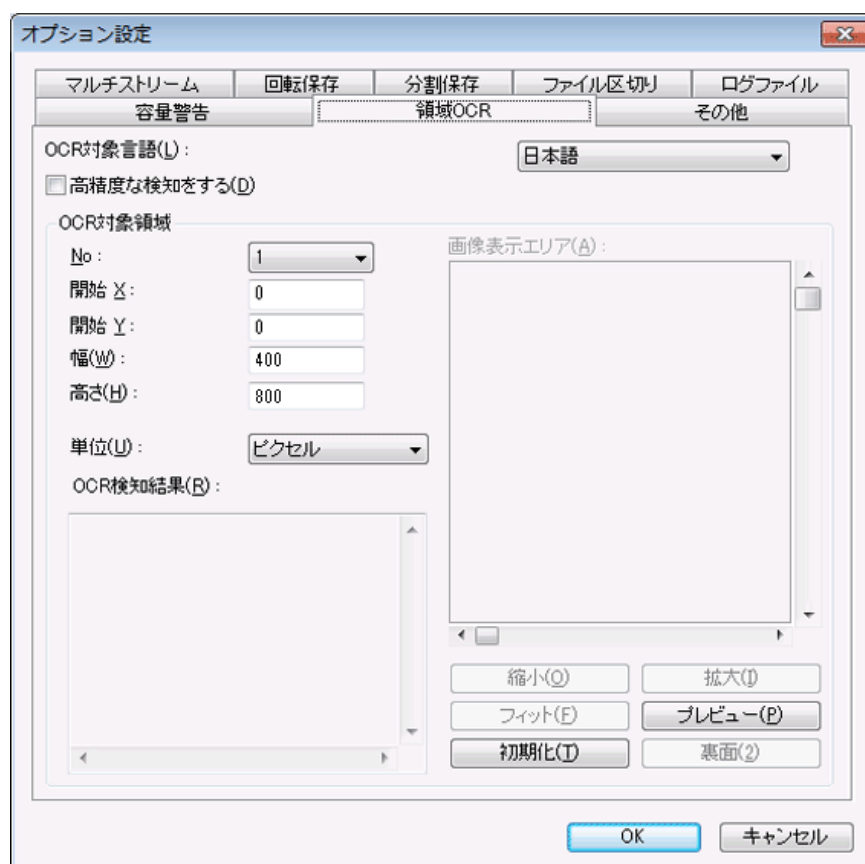
メモ

- PDF または PowerPoint ファイルに文字情報を付加するための設定については、「[PDF ファイルの保存方法を設定する \(→ P. 19\)](#)」または「[PowerPoint ファイルの保存方法を設定する \(→ P. 22\)](#)」を参照してください。
- ファイル名 / フォルダ名の設定については、「[ファイル名 / フォルダ名の設定 \(→ P. 26\)](#)」を参照してください。
- 上記 2 つの機能を両方とも有効にした場合、読み取った画像に対して文字認識を 2 回行います。

OCR 設定について

1 [オプション設定] の [領域 OCR] タブを選択します。

[OCR 設定] ダイアログボックスが表示されます。

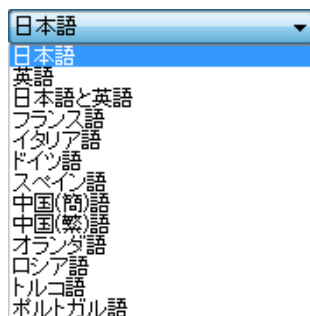


メモ

「オプションの詳細設定」は、以下の画面で表示されます。

- 「スキャンしてファイルに保存」ダイアログボックス [\(→ P. 50\)](#)
- 「スキャンしてメール」ダイアログボックス [\(→ P. 55\)](#)
- 「スキャンして SharePoint サーバーに送信」ダイアログボックス [\(→ P. 58\)](#)
- 「ページ挿入 / 追加ースキャナーから」ダイアログボックス [\(→ P. 83\)](#)
- 「ページ差し替えースキャナーから」ダイアログボックス [\(→ P. 86\)](#)
- 「スキャン継続」ダイアログボックス [\(→ P. 47\)](#)

2 文字認識を行う活字の対象となる言語をリストボックスの中から選択します。



メモ

中国語を選択した場合、中国語フォントをインストールしていない環境では、中国語の文字認識結果を正常に表示させることができません。

3 画像上の白抜き文字を検知するなど、より精度が高いな検知をするときは「高精度な検知をする」をオンにします。

4 検知する領域を入力します。



メモ

OCR 対象領域は 8 つまで設定することができます。

5 文字認識を行う原稿を 1 枚セットし、[プレビュー] ボタンをクリックします。 スキャンを行います。

メモ

- ・ [拡大]、[縮小] ボタンで表示されている画像のサイズを変更し、画像内の文字と認識結果を比較できます。
- ・ プレビューした画像上でマウスを対角線にドラッグすることで、領域を変更することができます。
- ・ [初期化] ボタンで、設定したすべての OCR 対象領域の値を初期値に戻すことができます。
- ・ ドライバの設定で [読み取り面] を [両面] にしている場合、[裏面] ボタンでプレビューの表示を切り替えることができます。
[片面] にしている場合は、ボタンが無効になります。

6 [OK] ボタンをクリックし、OCR 設定を終了させます。

ログファイルについて

バーコード検知機能や OCR 機能で認識した結果は、CSV 形式のログファイルとして保存することができます。ログファイルの保存設定は、[オプション設定] の [ログファイル] タブで設定します。

ログファイルを保存するには、以下の [バーコードログファイルに検知結果を出力する] と [OCR ログファイルに検知結果を出力する] をそれぞれチェックし、ログファイルを指定します。

The screenshot shows the 'オプション設定' (Option Settings) dialog box with the 'ログファイル' (Log File) tab selected. The dialog has a title bar with a close button. Inside, there are three tabs: '容量警告' (Capacity Warning), '領域OCR' (Area OCR), and 'その他' (Others). The 'ログファイル' tab is active, showing settings for log files. Under 'バーコードログ設定' (Barcode Log Settings), the checkbox 'バーコードログファイルに検知結果を出力する(O)' is checked. Below it, the text 'バーコードログファイル名(L):' is followed by a text box containing 'C:\Users\%Pictures%\BarcodeLog.csv' and a '参照(W)...' button. Under 'OCRログ設定' (OCR Log Settings), the checkbox 'OCRログファイルに検知結果を出力する(U)' is unchecked. Below it, the text 'OCRログファイル名(G):' is followed by a text box containing 'C:\Users\%Pictures%\OCRLog.csv' and a '参照(X)...' button. At the bottom, there is a '文字コード(E)' (Character Code) section with a dropdown menu set to 'Unicode'. At the very bottom are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

容量警告	領域OCR	その他
マルチストリーム	回転保存	分割保存
	ファイル区切り	ログファイル

バーコードログ設定

☒ バーコードログファイルに検知結果を出力する(O)

バーコードログファイル名(L):

C:\Users\%Pictures%\BarcodeLog.csv

参照(W)...

OCRログ設定

☐ OCRログファイルに検知結果を出力する(U)

OCRログファイル名(G):

C:\Users\%Pictures%\OCRLog.csv

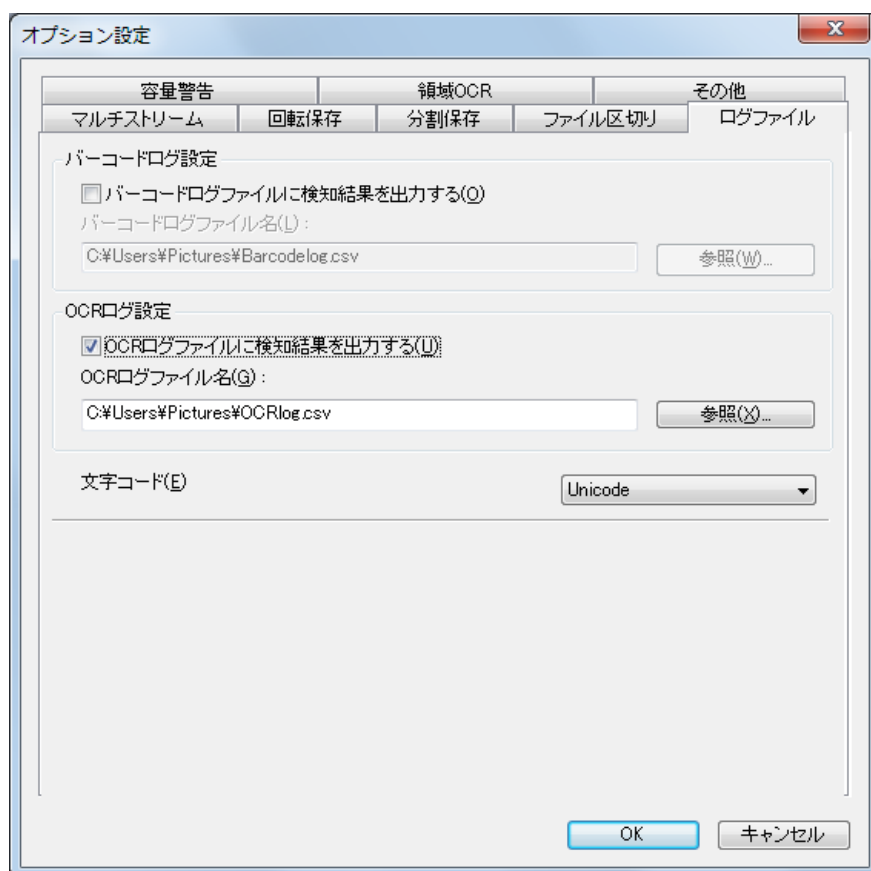
参照(X)...

文字コード(E)

Unicode

OK

キャンセル

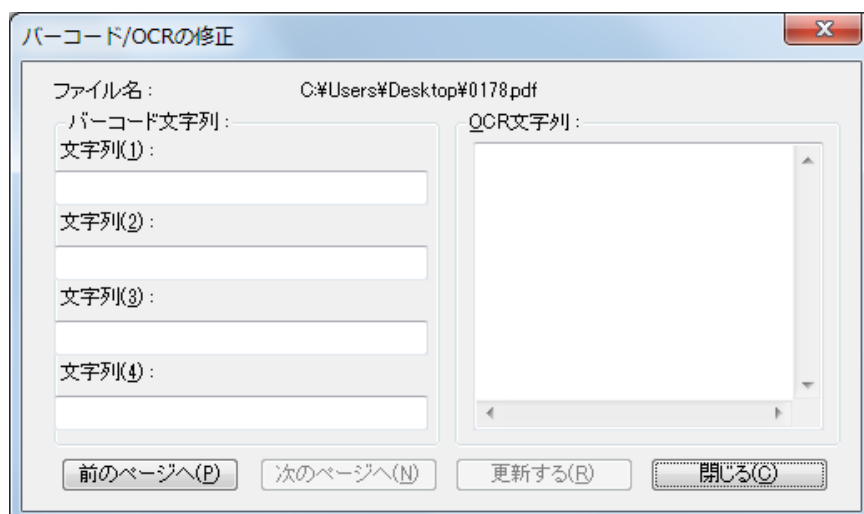


◆ メモ

- バーコードは、スキャナーが対応している場合に有効になります。
- ログファイルが保存されている画像ファイルのページを編集（追加、削除、差し替え）した場合、ログファイルも編集されます。このとき、ログファイルのファイルサイズによってはログファイルの編集に時間がかかる場合があります。
- [文字コード] のリストボックスから [Unicode] または [ANSI] のいずれかを選択できます。

バーコード/OCRの修正について

バーコードやOCRの認識結果はログファイルに保存されています。[ログファイルについて \(→ P. 38\)](#)
[バーコード/OCRの修正] ダイアログボックスでは、保存されているログファイルの認識結果を表示させ、必要に応じて認識結果を修正します。



◆ メモ

- 認識結果の修正は、保存されているログファイルに反映されます。
- 画像ファイルの保存場所を変更すると、ログファイルは無効になり、バーコード/OCRの修正はできません。
- [オプション設定] の [ログファイル] タブで、[バーコードログファイルに検知結果を出力する] / [OCR ログファイルに検知結果を出力する] がチェックされていないと、バーコード/OCRの修正はできません。[ログファイルについて \(→ P. 38\)](#)

その他の機能について

ここでは、[オプションの詳細設定] で設定できるさまざまな設定について説明します。

メモ

[オプション設定] は、以下の画面で [オプションの詳細設定] をクリックすると表示されます。

- 「スキャンしてファイルに保存」ダイアログボックス [\(→ P. 50\)](#)
- 「スキャンしてメール」ダイアログボックス [\(→ P. 55\)](#)
- 「スキャンして SharePoint サーバーに送信」ダイアログボックス [\(→ P. 58\)](#)
- 「ページ挿入 / 追加ースキャナーから」ダイアログボックス [\(→ P. 83\)](#)
- 「ページ差し替えースキャナーから」ダイアログボックス [\(→ P. 86\)](#)
- 「スキャン継続」ダイアログボックス [\(→ P. 47\)](#)

CapturePerfect には、スキャンした画像を指定した方向に回転させて保存する「回転保存」、上下または左右に 2 分割して保存する「分割保存」があります。スキャンを実行する前に「回転保存」や、「分割保存」の設定を行うことにより、スキャンした画像を効率よく処理することができます。「回転保存」および、「分割保存」の設定は、[回転保存] タブまたは [分割保存] タブで行います。

また、スキャンした画像を保存するフォルダーを特定し、特定したフォルダーに対して保存できる容量を設定する「容量警告設定」があります。「容量警告」は、特定したフォルダーの容量が、スキャン開始時にすでに設定した容量を超えていたとき または、スキャン中に設定した容量を超えたときに警告メッセージを表示します。この設定は、[容量警告] タブで行います。

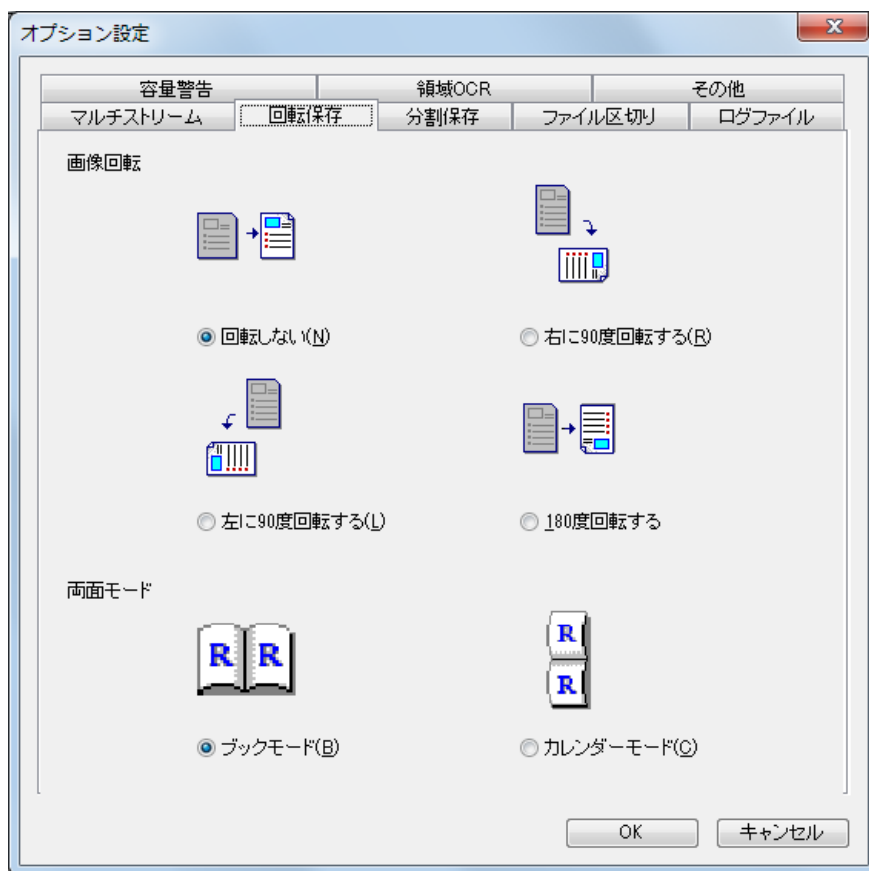
その他に、[ファイル区切り] タブで行うファイル区切りの詳細設定「[ファイル区切りの設定 \(→ P. 45\)](#)」や、[その他] タブで行うスキャン実行時の動作の設定「[その他の設定 \(→ P. 47\)](#)」などがあります。

回転保存の設定

[回転保存の設定] [\[分割して保存\]](#) [\[容量警告設定\]](#) [\[ファイル区切りの設定\]](#) [\[その他の設定\]](#)

回転保存は、読み取った画像を、左、または右に 90 度回転させて保存する機能です。

1 【オプション設定】の【回転保存】タブを選択します。



2 回転方向を選択します。

左に 90 度回転する：スキャンした画像が反時計方向に 90 度回転されて保存されます。

右に 90 度回転する：スキャンした画像が時計方向に 90 度回転されて保存されます。

180 度回転する：スキャンした画像が 180 度回転されて保存されます。

3 両面読み取りモードを選択し、[OK]をクリックします。

ブックモード：原稿のおもて面と裏面で、上下が同じ向きになっている原稿を読み取る場合に指定します。

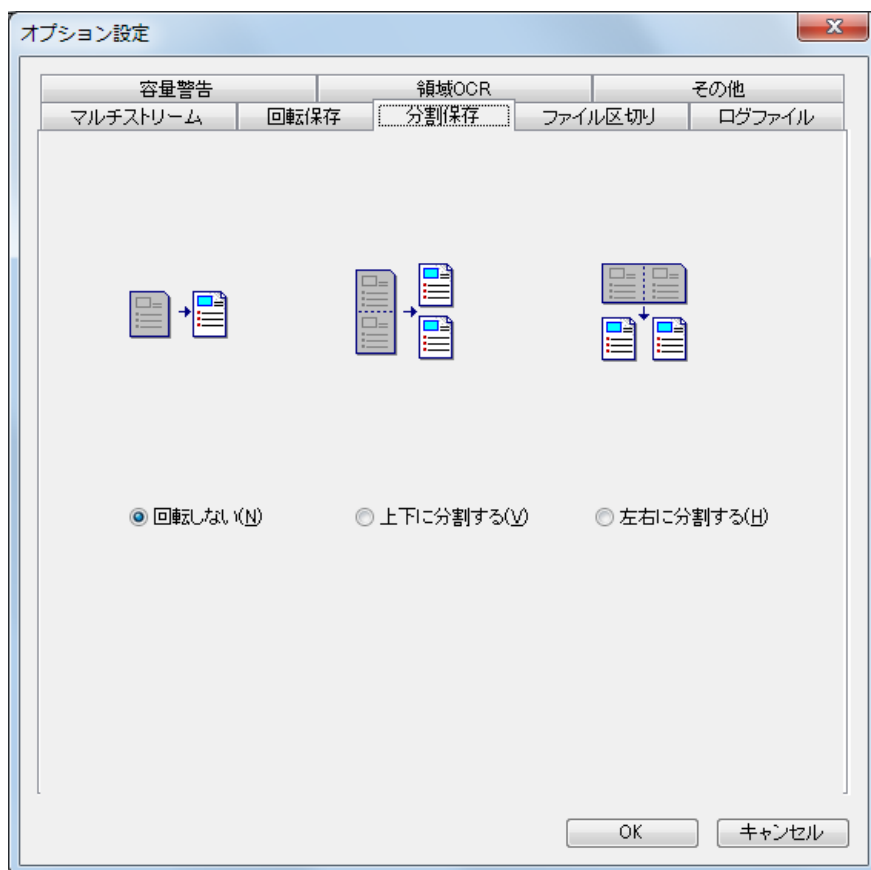
カレンダーモード：原稿のおもて面と裏面で、上下が逆向きになっている原稿を読み取る場合に指定します。読み取った裏面の画像を 180 度回転して保存します。

分割して保存

[\[回転保存の設定\]](#) [\[分割して保存\]](#) [\[容量警告設定\]](#) [\[ファイル区切りの設定\]](#) [\[その他の設定\]](#)

画像の分割は、読み取った画像を、上下、または左右2つの画像に分割して保存する機能で、見開き2ページ分の画像などを2つの画像に分割して保存することができます。

1 [オプション設定] の [分割保存] タブを選択します。



2 分割方向を選択します。

分割しない：チェックすると画像を分割しません。

上下に分割する：スキャンした画像が上下に2分割されます。

左右に分割する：スキャンした画像が左右に2分割されます。

メモ

1ページごとに1つのファイルで保存する場合、分割された画像のファイル名は、上→下または、左→右の順にファイル名が付けられます。

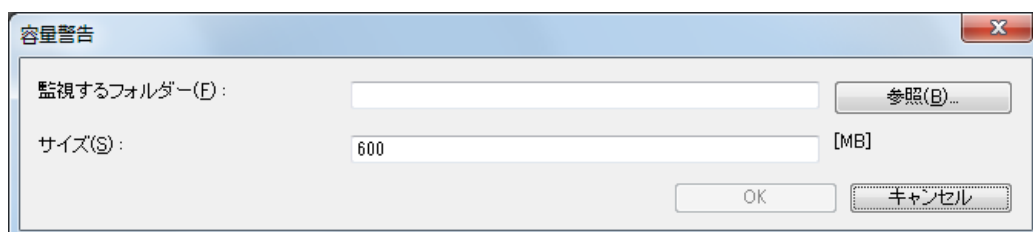
容量警告設定

[\[回転保存の設定\]](#) [\[分割して保存\]](#) [\[容量警告設定\]](#) [\[ファイル区切りの設定\]](#) [\[その他の設定\]](#)

容量警告は、画像ファイルを保存するフォルダーをあらかじめ特定しておき、特定したフォルダーに対して保存できる容量を設定します。スキャン開始時または、スキャン中にファイルの総容量が設定したサイズを超えたときに警告メッセージを表示します。

1 [オプション設定] の [容量警告] タブを選択し、[新規 / 変更] をクリックします。

[容量警告] ダイアログボックスが表示されます。



2 容量監視フォルダーを指定します。

3 警告を出すサイズ(MB)を入力します。

4 [OK] ボタンをクリックし、[容量警告] ダイアログボックスを閉じます。

◆ メモ

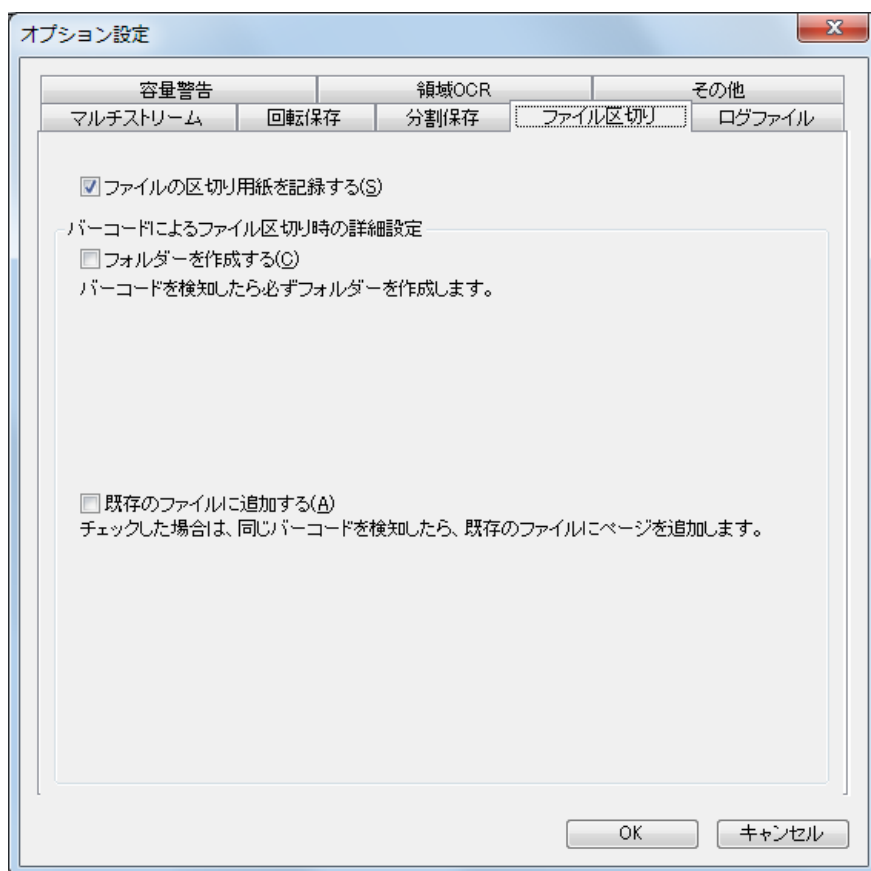
- 容量警告設定が有効になっている場合、設定されたフォルダーの中のファイルの総容量が設定サイズを超えていると、スキャン方法にかかわらずスキャン開始時またはスキャン中に警告メッセージが表示されます。
- 隠しファイルやシステムファイルなど通常表示されていないファイルやフォルダーは、容量警告設定では計算されません。
- 容量警告を設定できるフォルダーは、最大 10ヶ所のフォルダーです。
- 警告が表示されたときは、メッセージに従い、そのまま継続するか、保存先を変更してスキャンを行ってください。

ファイル区切りの設定

[\[回転保存の設定\]](#) [\[分割して保存\]](#) [\[容量警告設定\]](#) [\[ファイル区切りの設定\]](#) [\[その他の設定\]](#)

複数ページをスキャンする際に、ファイルを区切る位置や方法を設定します。

1 **【オプション設定】の【ファイル区切り】タブを選択します。**



2 以下の設定を行います。

ファイルの区切り用紙を記録する：チェックした場合は、パッチコード、またはバーコードを含む用紙を保存します。ただし、検知したパッチコードがパッチIIのときは、チェックのあるなしに関係なく保存されます。

フォルダーを作成する：チェックした場合は、バーコードでファイルが区切られた場合に、フォルダーを作成します。ただし、[複数ページの設定]で[1ページごとに1つのファイルにする]を選択している場合は、常にフォルダーが作成されます。

既存のファイルに追加する：チェックした場合は、既存のファイルに追加します。

たとえば、次のような原稿をスキャンするときは、[スキャンしてファイルに保存]ダイアログボックスの[複数ページの保存設定]の設定内容に応じて、次のようにバッチが区切られます。

バーコード文字列：2ページおきに January、February、March、January の順にバーコードを挿入

ファイル名：imageXXXX

ファイル形式：TIFF 形式

[複数ページの保存設定]が「1 ページごとに 1 つのファイルにする」のとき

[フォルダーを作成する] の設定にかかわらず、常にバーコード文字列と同じ名前のフォルダーが作成されます。

[既存のファイルに追加する] をオンにした場合、同じバーコードで区切られたページは、同一のファイルに追加して保存されます。オフにした場合は、2 回目のバーコードで区切られたスキャン画像は、ファイル名のルール設定に従い、上書きまたはカウンター値が付加されて保存されます。

メモ

- 原稿の同じページに 2 つ以上のバーコードがあった場合は、左上隅に近いバーコードを先頭にしたすべてのバーコード文字列がスペース区切りでファイル名に適用されます。
- [既存のファイルに追加する] をオンにし、複数ページでスキャンした場合に、保存されるスキャン画像と同名のファイルがすでにあったときは、そのファイルにスキャン画像が追加されます。たとえば上記の例では、imageJanuary.tif がすでに存在した場合、バーコード文字列「January」で区切られたスキャン画像は既存の imageJanuary.tif に追加されます。

[複数ページの保存設定]が「指定ページ数ごとに 1 つのファイルにする」のとき

スキャンした複数ページの画像を、「ページ数の指定」で入力した数値ごとに分けたファイルに保存します。

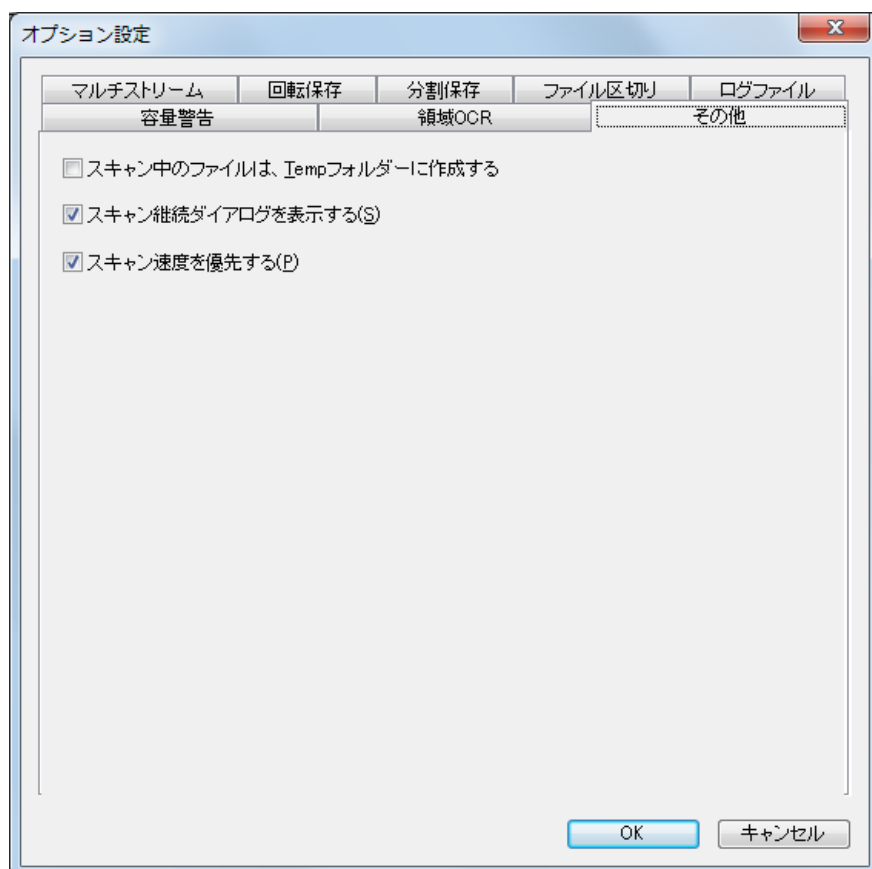
この設定を選択した場合は、「ファイル区切り」の設定が自動的に「なし」になります。

その他の設定

[\[回転保存の設定\]](#) [\[分割して保存\]](#) [\[容量警告設定\]](#) [\[ファイル区切りの設定\]](#) [\[その他の設定\]](#)

スキャン実行時の設定を行います。

1 **【オプション設定】**の**【その他】**タブを選択します。



2 以下の設定を行います。

スキャン中のファイルは、Temp フォルダーに作成する：チェックした場合は、スキャン中のファイルを Temp フォルダーに作成します。スキャンが終了してファイルの作成が完了すると、指定したフォルダーにファイルをコピーします。

スキャン継続ダイアログを表示する：チェックした場合は、スキャン終了後にスキャン継続ダイアログを表示し、続きの原稿をスキャンするかどうかを指定できます。

ただし、「スキャンしてプリント」実行時、[ページの差し替え]－[スキャナーから]実行時、PowerPoint ファイル作成時は、この設定をチェックしても継続ダイアログを表示しません。

スキャン速度を優先する：チェックした場合は、スキャン中の表示画像を粗くすることでスキャンの速度をより上げます。


スキャン方法

CapturePerfect3.1 でスキャンする方法として、以下のスキャン方法があります。必要に応じてスキャン方法を選択します。

- [1 ページのみスキャン \(→ P. 49\)](#) : 原稿を 1 ページのみスキャンします。スキャンした画像は必要に応じて保存または、印刷します。
- [スキャンして保存 \(→ P. 50\)](#) : スキャンした画像をスキャン開始時に指定したファイルに保存します。
- [スキャンしてプリント \(→ P. 53\)](#) : スキャンした画像を指定したプリンターに直接印刷します。(スキャンした画像の保存は、印刷終了後に行います。)
- [スキャンしてメール \(→ P. 55\)](#) : スキャンした画像を電子メールに添付します。(スキャンした画像の保存は、メール送信終了後に行います。)
- [スキャンして SharePoint サーバーに送信 \(→ P. 58\)](#) : スキャンした画像を SharePoint サーバーに送信します。(スキャンした画像の保存は、SharePoint サーバー送信後に行います。)
- [プレゼンテーションモードでスキャン \(→ P. 63\)](#) : CapturePerfect ウィンドウを全画面表示にしてスキャンを行い、全画面表示のままスキャンした画像を表示します。(スキャンした画像の保存は、プレゼンテーションモード終了時に行います。)
- [よく使う設定 \(→ P. 66\)](#) : スキャン条件およびスキャン後の処理方法をあらかじめ登録し、スキャン時は、登録した設定でスキャンを行います。(よく使う設定は、ツールバーから実行します。)

1 ページのみスキャン

「1 ページのみスキャン」は、原稿を 1 ページのみスキャンして終了します。スキャンした表示されている画像は、必要に応じて「保存」または「印刷」を行ってください。[画像を保存する \(→ P. 75\)](#)、[画像を印刷する \(→ P. 79\)](#)

1 「[スキャン]」メニューの「[スキャナーの設定]」を選択または  ボタンをクリックし、スキャナーの設定ダイアログボックスを開きます。

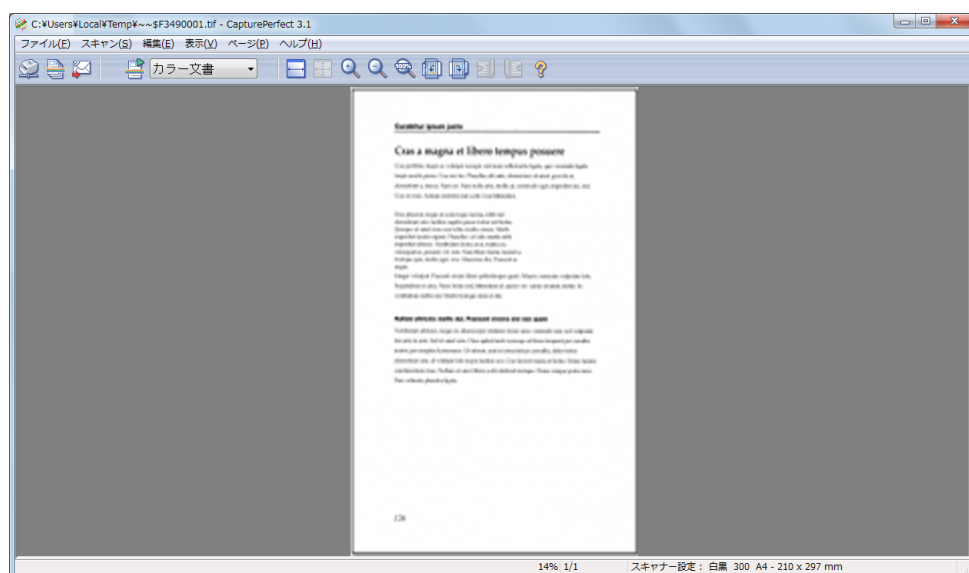
2 読み取り条件を設定し、[OK]をクリックします。

設定内容については、ダイアログボックスにある「ヘルプ」ボタンをクリックしてドライバのヘルプを参照してください。

3 原稿をセットします。原稿のセットについてはお使いのスキャナーの取扱説明書を参照してください。

4 「[スキャン]」メニューの「[1 ページのみスキャン]」を選択します。


原稿を 1 枚スキャンし、スキャンした画像を表示して終了します。

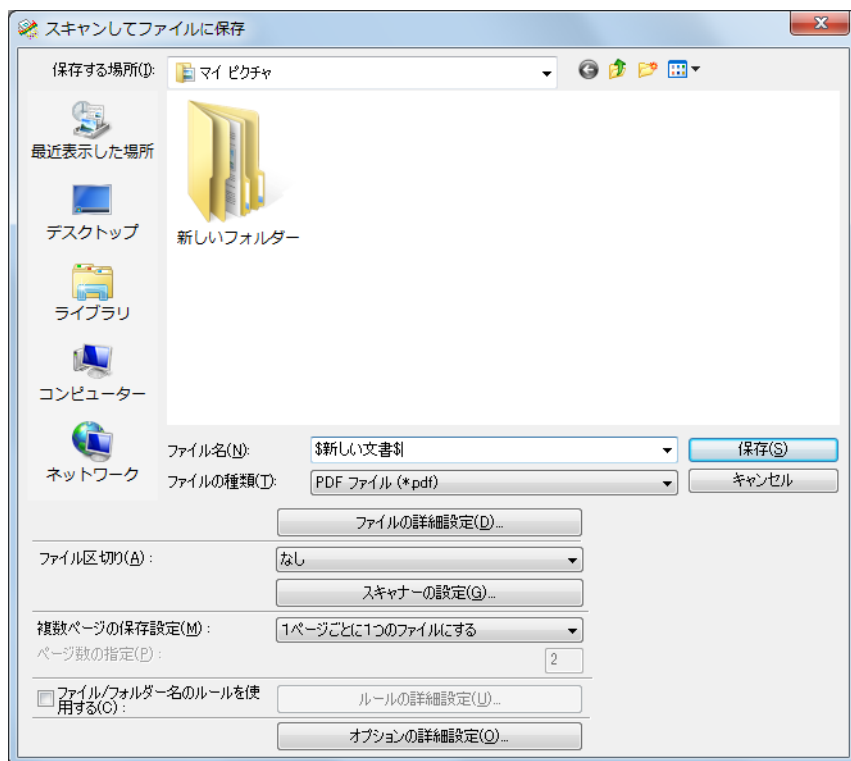


「スキャンして保存」(スキャンした画像を指定したファイルに保存する)

「スキャンして保存」は、スキャンした画像をスキャンを開始する前に指定したファイル形式、ファイル名で保存します。

「スキャンして保存」は、次の手順で行います。

- 1  ボタンまたは「スキャン」メニューの「スキャンして保存」を選択します。
「スキャンしてファイルに保存」ダイアログボックスが表示されます。



- 2 保存するファイル名とファイルの種類を選択します。

メモ

スキャナー設定の「カラーモード」で「24 ビットカラー」または「256 階調グレイ」以外の読み取りモードが選択されている場合、JPEG 形式で保存することはできません。[保存できるファイル形式について \(→ P. 17\)](#)

- 3 「ファイルの詳細設定」ボタンをクリックして、保存するファイルの種類ごとに詳細を設定します。[ファイル形式別の設定 \(→ P. 17\)](#)

- 4 「スキャナーの設定」ボタンをクリックし、読み取り条件を設定します。[読み取り条件の設定 \(→ P. 15\)](#)

メモ

ファイル区切りを行うときは、読み取り条件の設定でファイル区切りの設定を行ってください。

5 ファイル区切りタイプを選択します。

- ・[ファイル区切り] では、スキャナーの設定ダイアログボックスの[バッチ区切り]と同じ設定ができます。
 - －バーコードの読み取りに対応したスキャナーの場合は、スキャナー側の[バッチ区切り]設定値に加えて、「バーコード」が選択できます。この設定にすると、バーコード検知時にバッチが区切られます。
 - －パッチコードに対応したスキャナーの場合は、スキャナー側の[バッチ区切り]設定値に加えて、「パッチコード」が選択できます。この設定にすると、パッチコード検知時にバッチが区切られます。
 - －スキャナーの設定で給紙オプションを「自動給紙」にすると、スキャナー側の[バッチ区切り]設定値に加えて、「自動」が選択できます。この設定にすると、原稿の束ごとにバッチ区切りを行いながらスキャンを続けます。
 - －スキャナーの設定で給紙オプションを「パネルで給紙」にすると、スキャナー側の[バッチ区切り]設定値に加えて、「パネル」が選択できます。この設定にすると、スキャンパネルのバッチ区切りボタンを押したときにバッチが区切られます。

6 複数ページの保存設定を選択します。[複数ページの設定\(→ P. 24\)](#)

7 保存されるファイル/フォルダーの名前の付け方を設定したい場合は、[ファイル/フォルダー名のルールを使用する]をオンにして、ルールの設定を行います。[ファイル名 / フォルダー名の設定\(→ P. 26\)](#)

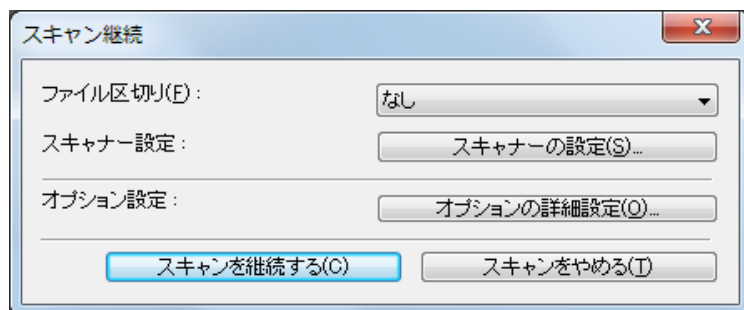
8 スキャンする原稿に合わせてその他の設定を行います。[その他の機能について\(→ P. 41\)](#)

9 原稿をセットします。原稿のセットのしかたはお使いのスキャナーの取扱説明書を参照してください。

10 [保存]ボタンをクリックします。

原稿がスキャンされます。

スキャナーに原稿がなくなるとスキャンが中断され、[スキャン継続]ダイアログボックスが表示されます。



◆ メモ

- ・保存形式に「*.pptx」を選択していると、[スキャン継続]ダイアログボックスは表示されません。
- ・指定したファイル名と同じ名前のファイルがある場合は、既存のファイルへの上書きを確認するダイアログボックスが表示されます。[OK] ボタンをクリックすると、ファイルが上書きされます。
- ・[オプション設定]－[その他]タブの[スキャン継続ダイアログを表示する]を無効にしている場合（項目の先頭にチェックマークがない場合）は、スキャナーに原稿がなくなったところでスキャンが終了します。[その他の設定\(→ P. 47\)](#)

11 スキャンを継続する場合は、スキャナーに原稿をセットしてから、[スキャンを継続する]をクリックします。スキャンを終了する場合は、[スキャンをやめる]をクリックします。

保存形式に「* .pptx」を選択している場合は、スキャンが終了すると「* .pptx」に関連付けられているアプリケーションが起動します。

CapturePerfect には、[画像をバックアップする] で指定した形式の画像が表示されます。[PowerPoint ファイルの保存方法を設定する \(→ P. 22\)](#)

「スキャンしてプリント」(スキャンした画像を印刷する)

「スキャンしてプリント」は、スキャンした画像を指定したプリンターに直接印刷します。スキャンした画像の保存は、印刷終了後に行います。

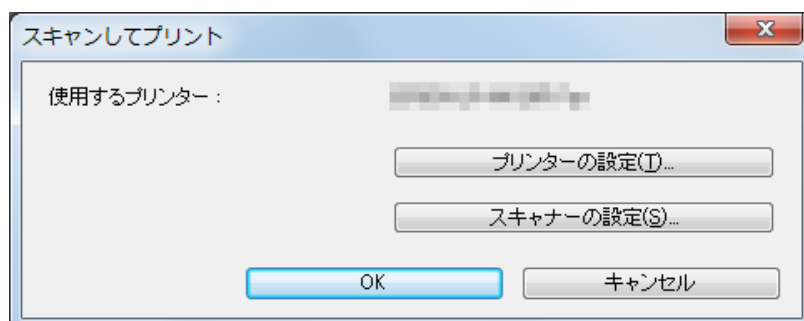
「スキャンしてプリント」は、次の手順で行います。

1 [ファイル] メニューの [プリント形式] を選択し、プリント形式を選択します。

- [実寸に合わせる]
印刷する用紙や読み込んだ解像度に拘わらず、原稿と同じサイズで印刷されます。
- [用紙に合わせる]
画像を用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小印刷します。
- [画素単位に合わせる]
読み込んだ画像の 1 ドットがプリンターの 1 ドットになるように印刷されます。そのためドットの小さい高解像度のプリンターで印刷する場合、プリントサイズは小さくなります。

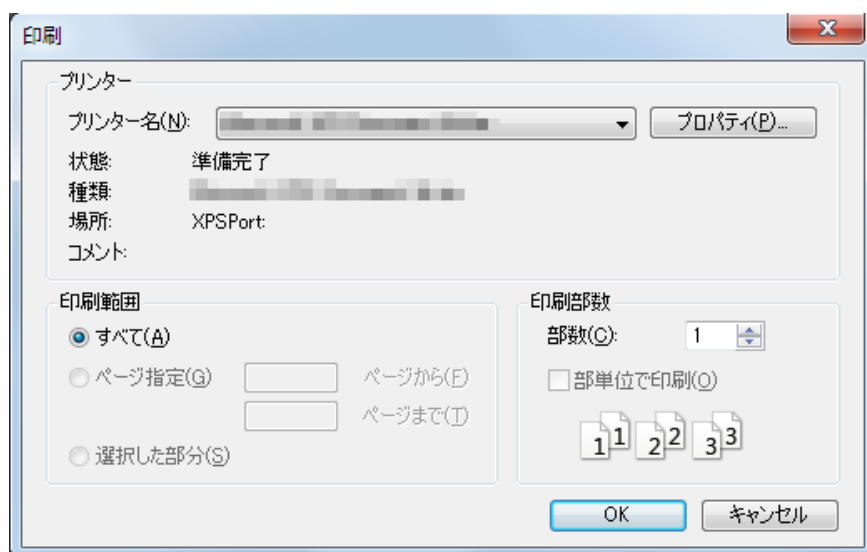
2 [スキャン]メニューの[スキャンしてプリント]を選択します。

[スキャンしてプリント] ダイアログボックスが表示されます。



3 [プリンターの設定]をクリックして、使用するプリンターの設定を行います。

[印刷] ダイアログボックスが表示されます。



メモ

プリンターの詳細な設定を行う場合は、[プロパティ] ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスは、ご使用のプリンタードライバによって異なります。設定の詳細は、ご使用のプリンタードライバの説明書を参照してください。

4 [スキャナーの設定]で読み取り条件を設定します。

設定内容については、ダイアログボックスにある [ヘルプ] ボタンを押してドライバのヘルプを参照してください。

5 原稿をセットします。

6 [OK]をクリックします。

原稿がスキャンされ、しばらくするとスキャンされた画像の印刷が開始されます。

印刷が終了すると、画像を保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックすると、画像を保存することができます。


「スキャンしてメール」(スキャンした画像を電子メールに添付する)

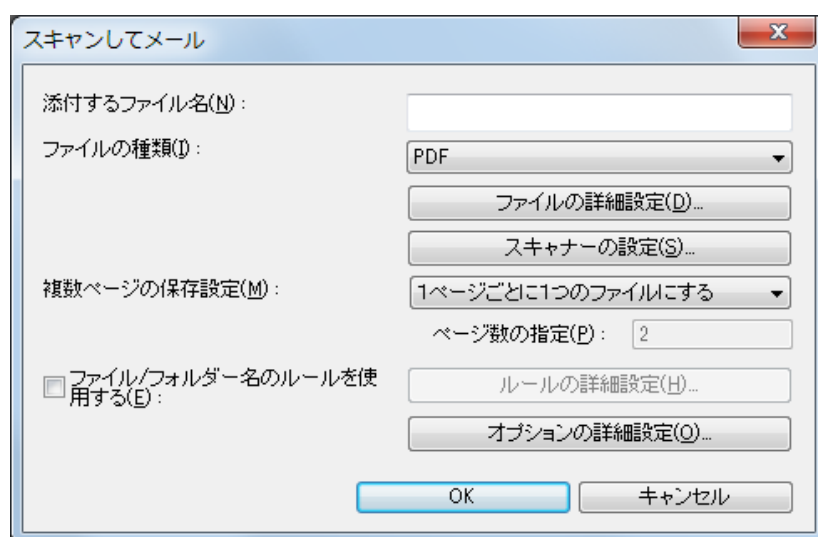
「スキャンしてメール」は、スキャンした画像を電子メールの送信メールに添付します。スキャンした画像の保存は、メール送信終了後に行います。

メモ

- 「スキャンしてメール」を行うには、MAPI(Microsoft Messaging Application Programming Interface)に対応した電子メールアプリケーションソフトウェアがコンピューターにインストールされている必要があります。
- あらかじめ、起動する電子メールアプリケーションソフトウェアを、スタートメニューの[コントロールパネル] → [ネットワークとインターネット] → [インターネットオプション] → [プログラム] → インターネットプログラムの[プログラムの設定]で設定しておいてください。(Windows 7 の例です。お使いのオペレーティングシステムの操作方法にしたがって設定してください。)

スキャンした画像を送信メールに添付するには、次のように操作します。

- 1  ボタンまたは、[スキャン]メニューの[スキャンしてメール]を選択します。
[スキャンしてメール]ダイアログボックスが表示されます。



2 添付するファイル名とファイルの種類を選択します。

メモ

- スキャナー設定の「カラーモード」で「24 ビットカラー」または「256 階調グレイ」以外の読み取りモードが選択されている場合、ファイルの種類に「jpg」または「pptx」を選択すると、スキャン時にエラー画面が表示されます。[保存できるファイル形式について \(→ P. 17\)](#)
- スキャン時の解像度が 300dpi の場合のみ、PowerPoint ファイルで保存できます。
- PowerPoint ファイルで保存できる用紙サイズは、A4 サイズまでです。ただしスキャナー設定で用紙サイズに「原稿のサイズに合わせる」を選択している場合、A4 サイズの原稿でもエラーが出る場合があります。
- スキャナー設定の「カラーモード」で「24 ビットカラー」または「256 階調グレイ」以外の読み取りモードが選択されている場合、PowerPoint 形式ではスキャンできません。

3 [ファイルの詳細設定]ボタンをクリックして、保存するファイルの種類ごとに詳細を設定します。[ファイル形式別の設定\(→ P. 17\)](#)

4 [スキャナーの設定]で読み取り条件を設定します。

設定内容については、ダイアログボックスにある「ヘルプ」ボタンをクリックしてドライバのヘルプを参照してください。

5 複数ページの保存設定を選択します。[複数ページの設定\(→ P. 24\)](#)

6 保存されるファイル/フォルダーの名前の付け方を設定したい場合は、[ファイル/フォルダー名のルールを使用する]をオンにして、ルールの設定を行います。[ファイル名 / フォルダー名の設定\(→ P. 26\)](#)

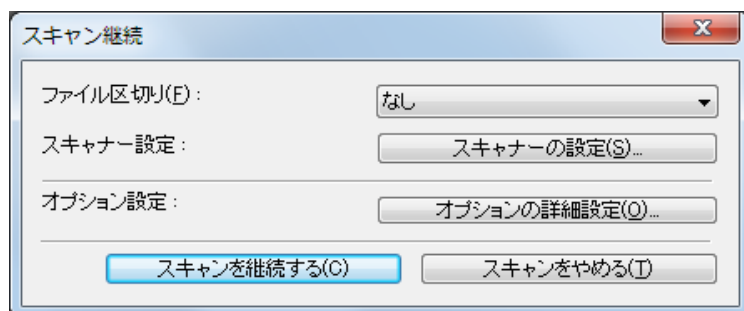
7 スキャンする原稿に合わせてその他の設定を行います。[その他の機能について\(→ P. 41\)](#)

8 原稿をセットします。原稿のセットのしかたはお使いのスキャナーの取扱説明書を参照してください。

9 [OK]ボタンをクリックします。

原稿がスキャンされます。

スキャナーに原稿がなくなるとスキャンが中断され、[スキャン継続] ダイアログボックスが表示されます。

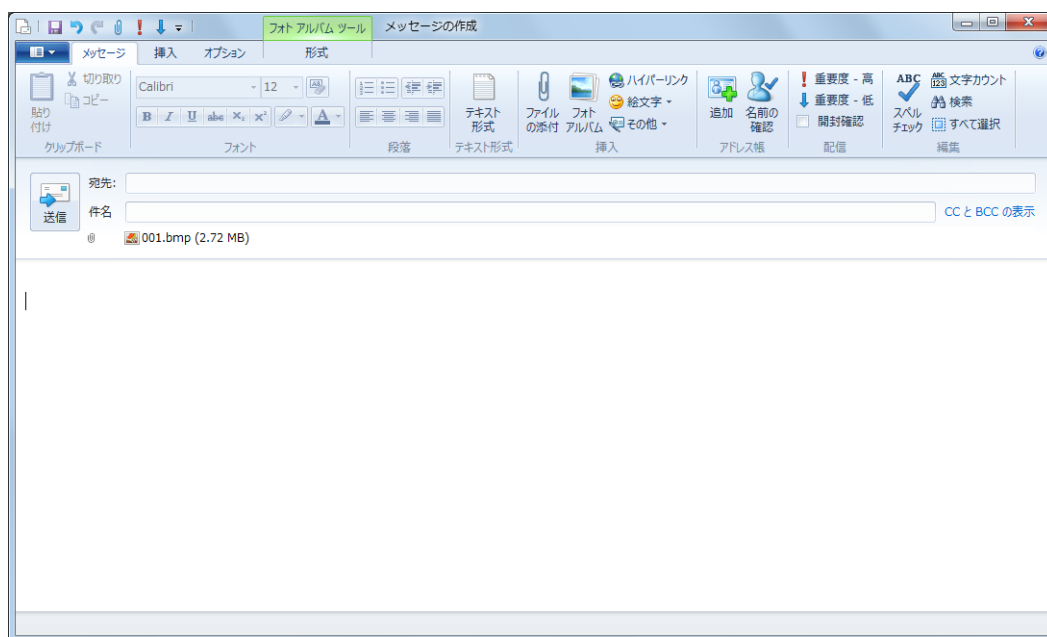


メモ

- 保存形式に「* .pptx」を選択していると、[スキャン継続] ダイアログボックスは表示されません。
- [オプション設定] — [その他] タブの「スキャン継続ダイアログを表示する」を無効にしている場合（項目の先頭にチェックマークがない場合）は、スキャナーに原稿がなくなったところでスキャンが終了します。手順 11 に進んでください。

10 スキャンを継続する場合は、スキャナーに原稿をセットしてから、[スキャンを継続する]をクリックします。スキャンを終了する場合は、[スキャンをやめる]をクリックします。

11 スキャンを終了すると、スキャンした画像ファイルが新規送信メールの添付ファイルになります。画像ファイルが添付された状態で、電子メールアプリケーションソフトウェアが起動します。



Windows Live の例です。

12 宛先、件名、本文を必要に応じて入力し、[送信]ボタンをクリックして電子メールを送信します。電子メールの送信方法の詳細は、ご使用の電子メールアプリケーションソフトウェアの説明書を参照してください。

メール送信が終了すると、画像を保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックして保存する場所を選択すると、画像を保存することができます。

「スキャンして SharePoint サーバーに送信」(スキャンした画像を SharePoint サーバーに送信する)

「スキャンして SharePoint サーバーに送信」は、スキャンした画像を SharePoint サーバーに送信します。スキャンした画像の保存は、送信完了後に行います。

1 「スキャン」メニューの「スキャンして SharePoint サーバーに送信」を選択します。

「スキャンして SharePoint サーバーに送信」ダイアログボックスが表示されます。

スキャンしてSharePointサーバーに送信

サーバーのURL(S):

ユーザ名(U):

パスワード(P):

フォルダー: 参照(B)...

ファイルのプロパティ: プロパティの設定(P)

ファイル名(N):

ファイルの種類(E): TIFF
ファイルの詳細設定(D)...

ファイル区切り(E): バーコード
スキャナーの設定(S)...

複数ページの保存設定(M): 全てのページを1つのファイルにする

ページ数の指定(P):

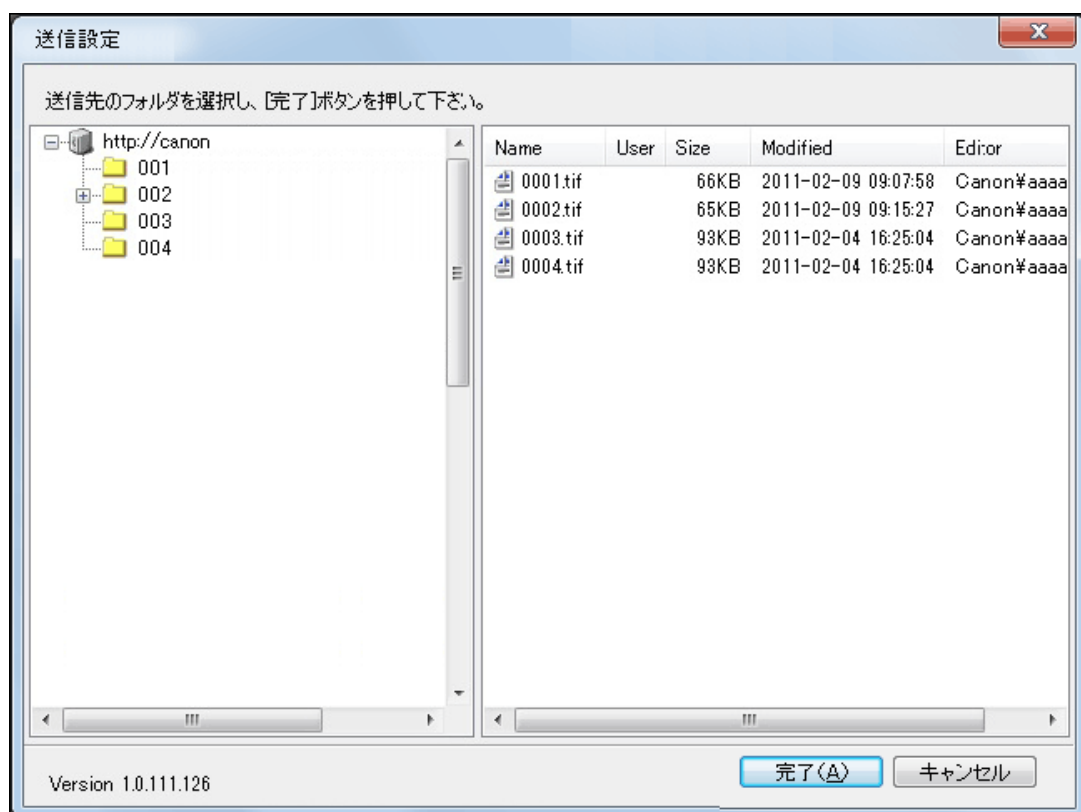
☐ ファイル/フォルダー名のルールを使用する(E): ルールの詳細設定(U)...

オプションの詳細設定(O)...

OK キャンセル

2 送信先の SharePoint サーバーの URL とアカウント情報を入力します。

3 [参照]ボタンをクリックし、送信先のフォルダーを選択します。



メモ

- 「サーバーの URL」を入力すると、[参照] ボタンが有効になります。
- アカウント情報、フォルダー名、ファイル名を入力すると、[OK] ボタンが有効になります。

4 [プロパティの設定]ボタンをクリックし、ファイルのプロパティを設定します。

送信設定

ファイルのチェックイン設定について入力し、[完了]ボタンを押してください。

チェックインコメント(Q):

ファイルのプロパティ情報

☐ 毎回ファイルのプロパティ情報を入力(I)

☒ 固定のファイルのプロパティ情報を自動入力(A)

名前	必須入力	設定値	説明
タイトル	No		

設定値を編集(E)...

Version 1.0.111.126

完了(A) キャンセル

5 保存するファイル名とファイルの種類を選択します。

📝 メモ

- ・スキャナー設定の[カラーモード]で「24ビットカラー」または「256階調グレイ」以外の読み取りモードが選択されている場合、J P E G形式で保存することはできません。[保存できるファイル形式について \(→ P. 17\)](#)
- ・スキャニング時の解像度が300dpiの場合のみ、PowerPointファイルで保存できます。
- ・PowerPointファイルで保存できる用紙サイズは、A4サイズまでです。ただしスキャナー設定で用紙サイズに「原稿のサイズに合わせる」を選択している場合、A4サイズの前稿でもエラーが出る場合があります。
- ・スキャナー設定の[カラーモード]で「24ビットカラー」または「256階調グレイ」以外の読み取りモードが選択されている場合、PowerPoint形式ではスキャンできません。

6 [ファイルの詳細設定]ボタンをクリックして、保存するファイルの種類ごとに詳細を設定します。[ファイル形式別の設定\(→ P. 17\)](#)

7 [スキャナーの設定]で読み取り条件を設定します。

設定内容については、ダイアログボックスにある[ヘルプ]ボタンを押してドライバのヘルプを参照してください。

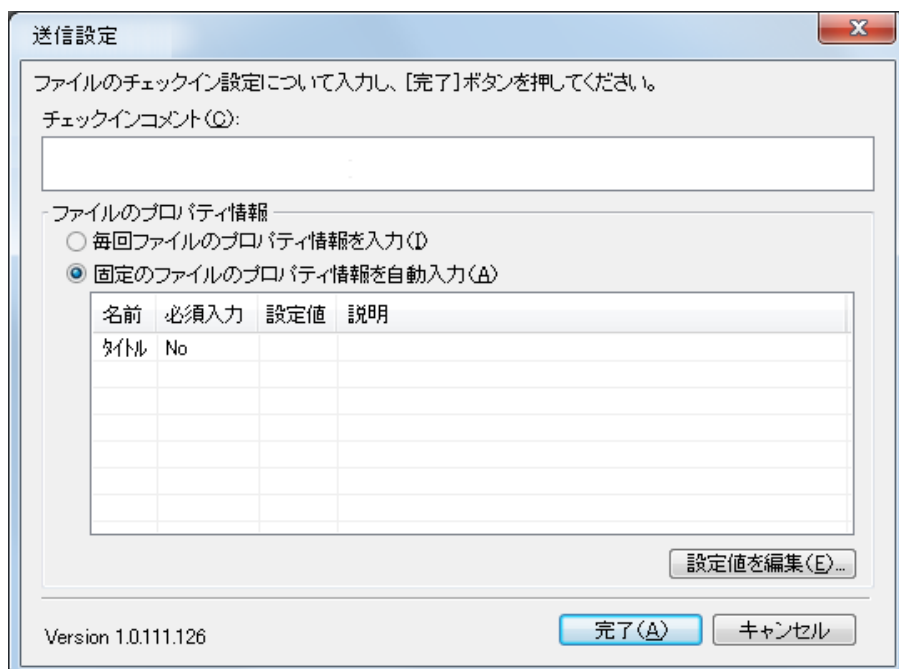
8 ファイル区切りを選択します。[ファイル区切りの設定\(→ P. 45\)](#)

9 複数ページの保存設定を選択します。[複数ページの設定\(→ P. 24\)](#)

- 10** 保存されるファイル/フォルダーの名前の付け方を設定したい場合は、[ファイル/フォルダー名のルールを使用する]をオンにして、ルールの設定を行います。[ファイル名 / フォルダー名の設定 \(→ P. 26\)](#)
- 11** スキャンする原稿に合わせてその他の設定を行います。[その他の機能について \(→ P. 41\)](#)
- 12** 原稿をセットします。原稿のセットのしかたはお使いのスキナーの取扱説明書を参照してください。
- 13** [OK]をクリックします。
原稿がスキャンされ、スキャンされた画像が SharePoint サーバーに送信されます。
送信処理が完了すると、アップロード完了のダイアログボックスが表示されます。
- 14** [OK]をクリックします。
画像を保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックして保存する場所を選択すると、画像を保存することができます。

プロパティの設定

SharePoint サーバーに送信するファイルにプロパティを設定できます。[スキャンして SharePoint サーバーに送信] ダイアログボックスで [プロパティの設定] ボタンをクリックすると、[送信設定] ダイアログボックスが表示されます。



送信設定

ファイルのチェックイン設定について入力し、[完了]ボタンを押してください。

チェックインコメント(C):

ファイルのプロパティ情報

☐ 毎回ファイルのプロパティ情報を入力(I)

☒ 固定のファイルのプロパティ情報を自動入力(A)

名前	必須入力	設定値	説明
タイトル	No		

設定値を編集(E)...

Version 1.0.111.126

完了(A) キャンセル

このダイアログボックスには、次の設定項目があります。

- [チェックインコメント]
ファイルのチェックイン設定についてコメントを入力します。
- [毎回ファイルのプロパティ情報を入力]
オンにすると、SharePoint サーバーに送信するごとにファイルのプロパティ情報を入力できます。
- [固定のファイルのプロパティ情報を自動入力]
オンにすると、SharePoint サーバーに送信するごとに定型のプロパティ情報を自動入力できます。
- [設定値を編集]
[固定のファイルのプロパティ情報を自動入力] がオンのときに、自動入力されたプロパティ情報を編集できます。

「プレゼンテーションモードでスキャン」(スキャンした画像を全画面表示で表示する)

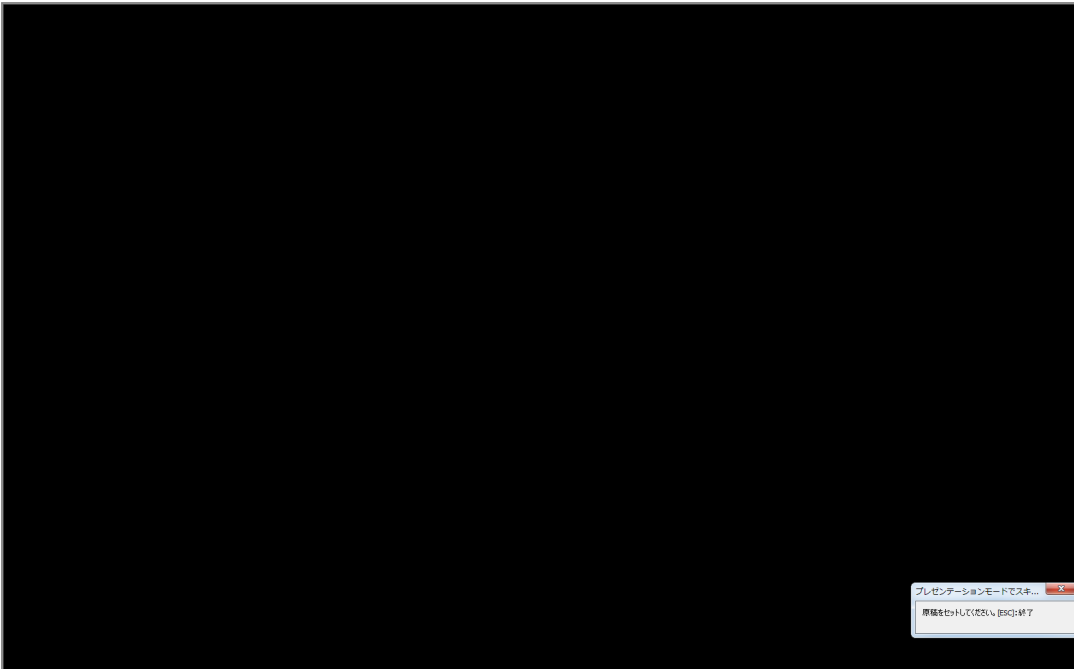
「プレゼンテーションモードでスキャン」は、スキャンした画像を全画面表示で画面に表示します。プレゼンテーションの会場など大型ディスプレイやプロジェクターとコンピューターが接続された環境で使用するにより、原稿をスキャンすると同時にディスプレイに表示させて説明することができます。

「プレゼンテーションモードでスキャン」は、次のように操作します。

原稿の読み取り

1 「スキャン」メニューの「プレゼンテーションモードでスキャン」を選択します。

CapturePerfect ウィンドウが全画面表示になり、プレゼンテーションモードを開始します。



2 メッセージに従い原稿をセットします。

下記の読み取り条件で原稿がスキャンされます。

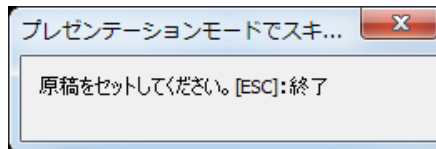
読み取り条件

設定項目	設定値
カラーモード	24 ビットカラー
用紙サイズ	原稿のサイズに合わせる
解像度	200 dpi
読み取り面	白紙をスキップする
給紙オプション	自動給紙
文字向き検知	有効
斜行補正	有効

メモ

- ・「プレゼンテーションモードでスキャン」では、ISIS ドライバの設定にかかわらず、上記の読み取り条件でスキャンされます。
- ・スキャナーによっては、上記の読み取り条件をサポートしていない場合もあります。
- ・「白紙をスキップする」の、「黒い点の割合」の設定は、ISIS ドライバの設定が反映されます。

3 セットした原稿がなくなると、スキャンを中断します。



4 スキャンを続けるときは、原稿をセットします。スキャンを終了するとき、右上の[×]をクリックします。

スキャンが終了すると、画像を保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックすると、画像を保存することができます。

メモ

キーボードの ESC キーを押すとプレゼンテーションモードが終了します。

全画面表示中の画面の操作

全画面表示されている画面の操作は、マウスの右ボタンをクリックしたときに表示されるサブメニューまたは、サブメニューの各項目に割り当てられたショートカットキーの操作により行います。



サブメニューに表示される機能と、ショートカットキーは以下の通りです。

サブメニュー	ショートカットキー
明るさ	Ctrl + Shift + B
ウィンドウに合わせる	Ctrl + F
ウィンドウ幅に合わせる	Ctrl + W
拡大	Ctrl + I
縮小	Ctrl + O
現在のページを左に回転	Ctrl + L
全ページを左に回転	Ctrl + Shift + L
現在のページを右に回転	Ctrl + R
全ページを右に回転	Ctrl + Shift + R
次のページ	ENTER
前のページ	BS
サムネイル	Ctrl + T
プレゼンテーションモードの終了 または、全画面表示をやめる	ESC

プレゼンテーションモードの終了

プレゼンテーションモードは、キーボードの [ESC] キーまたは、サブメニューの [プレゼンテーションモードの終了] で終了します。

プレゼンテーションモードの終了を選択すると、画像ファイルの保存のメッセージが表示されます。必要に応じて画像ファイルを保存してください。

「よく使う設定」(あらかじめ登録した設定でスキャンをおこなう)

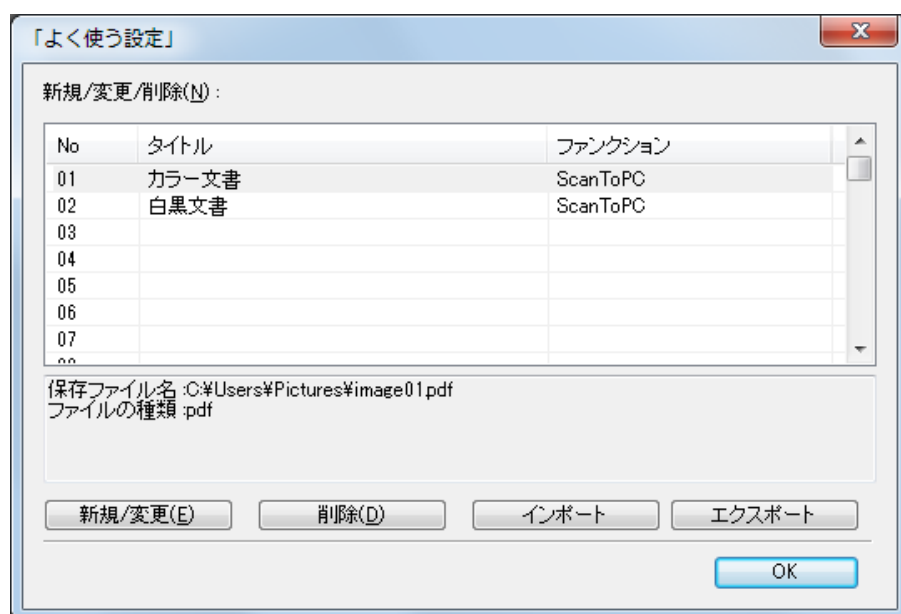
「よく使う設定」は、読み取り条件およびスキャン方法（スキャンして保存/スキャンしてプリント/スキャンしてメール）をあらかじめ登録し、スキャン時は、登録した設定でスキャンを行います。

よく使う設定の登録

「よく使う設定」で使用する設定を以下の手順で登録します。

1 「スキャン」メニューの「よく使う設定」の新規作成/削除を選択します。

「よく使う設定」ダイアログボックスが表示されます。



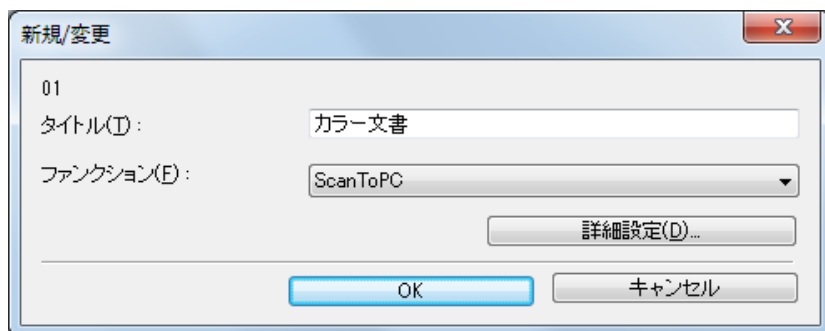
メモ

01 および 02 には、あらかじめ以下の設定が登録されています。

番号	タイトル	ファンクション
01	カラー文書	ScanToPC
02	白黒文書	ScanToPC

2 設定を登録する[No.] を選択し、[新規 / 変更]をクリックします。

[新規 / 変更] ダイアログボックスが表示されます。

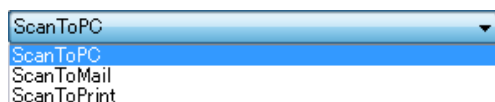


3 [タイトル]を入力します。



タイトルに使用できる文字は、全角、半角とも最大で 64 文字です。

4 [ファンクション]をリストボックスから指定します。

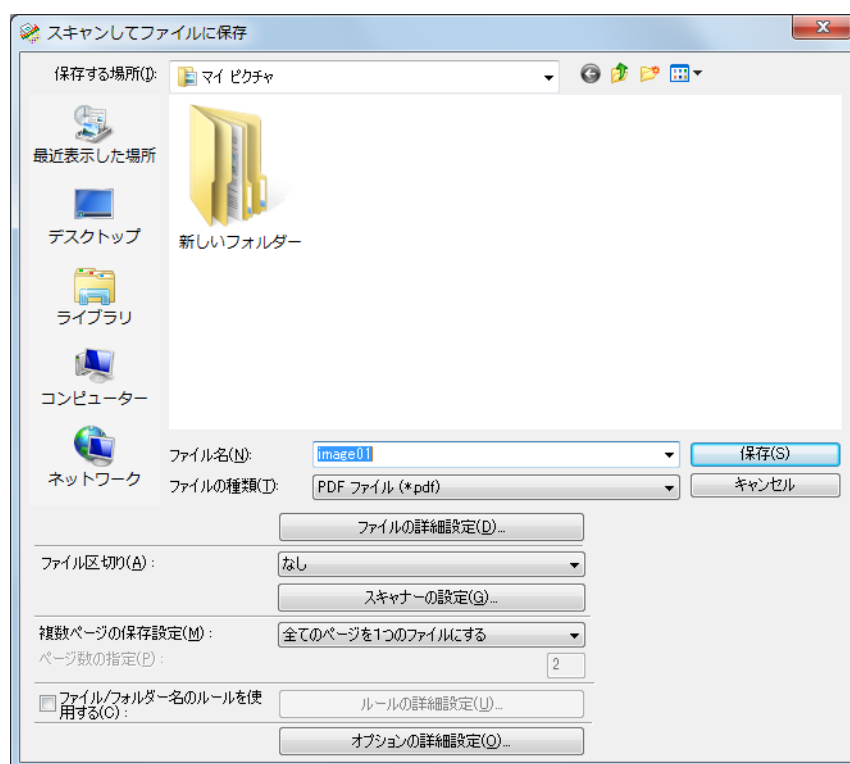


- [ScanToPC] : スキャンした画像を指定した P C に保存します。
- [ScanToMail] : スキャンした画像を電子メールに添付して送信します。
- [ScanToPrint] : スキャンした画像を指定したプリンターで印刷します。

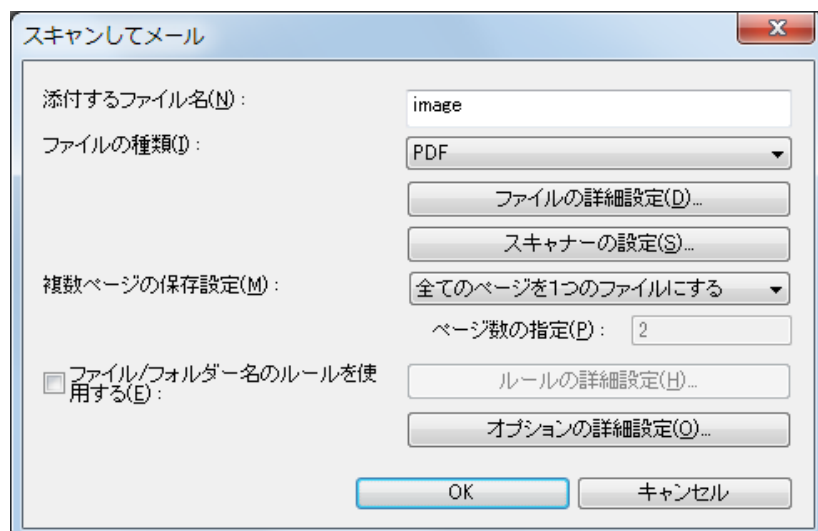
5 [詳細設定]をクリックします。

指定したファンクションに合わせて設定ダイアログボックスが表示されます。

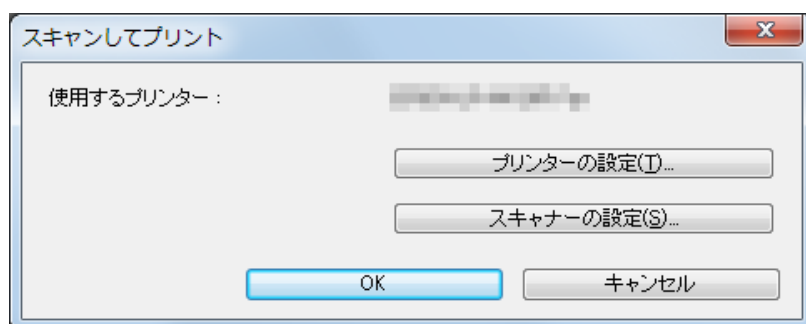
- [ScanToPC] : 設定の詳細については、[スキャンして保存 \(→ P. 50\)](#) を参照してください。



- [ScanToMail] : 設定の詳細については、[スキャンしてメール \(→ P. 55\)](#) を参照してください。



- [ScanToPrint] : 設定の詳細については、[スキャンしてプリント \(→ P. 53\)](#) を参照してください。



メモ

[スキャンしてファイルに保存]、[スキャンしてメール]、[スキャンして SharePoint サーバーに送信] ダイアログボックスには [ファイルの詳細設定] ボタンが表示されます。[ファイル形式別の設定 \(→ P. 17\)](#)

- 6 [OK] ボタン (ScanToPC の場合は [保存] ボタン) をクリックし、設定ダイアログボックスを閉じます。
登録した内容は、[「よく使う設定」] ダイアログボックスに表示されます。


- 7 [OK] ボタンをクリックし、[「よく使う設定」] ダイアログボックスを閉じます。

メモ

- よく使う設定は最大 99 個登録することができます。
- 登録されている設定の内容を変更するときは、項目を選択して [新規 / 変更] ボタンをクリックします。
- 登録した設定を削除するときは、削除する項目をクリックして [削除] ボタンをクリックします。
- 登録済みの設定をファイルに出力して、他の方の PC などを使用することができます。[エクスポート] ボタンをクリックすると、登録されているすべての設定がファイルに出力されます。設定を取り込むときは [インポート] ボタンをクリックし、取り込むファイルを選択します。現在の設定は、取り込んだ設定にすべて上書きされます。

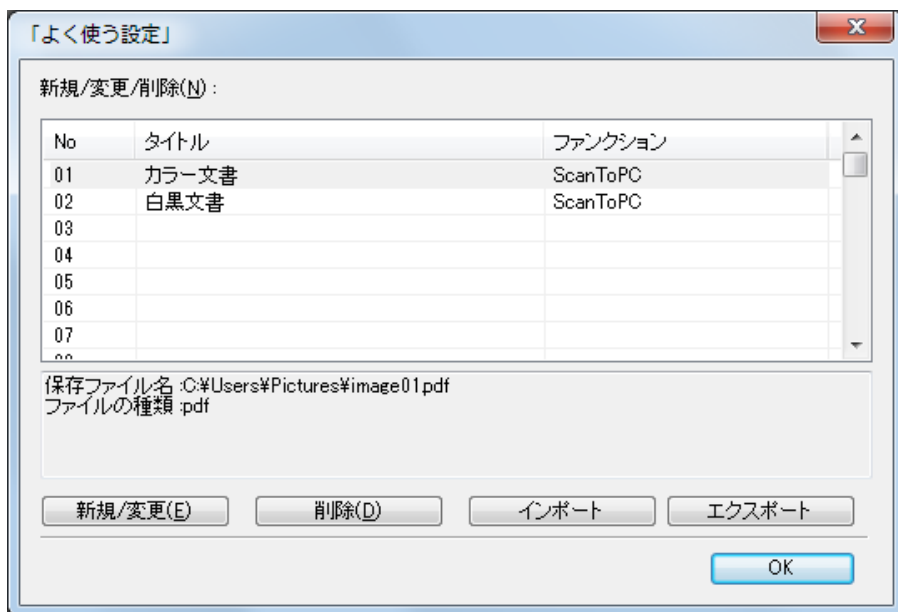
よく使う設定の実行

1 [スキャン] メニューの [「よく使う設定」の新規作成 / 削除] で、設定を登録します。[よく使う設定の登録 \(→ P. 66\)](#)

2 ツールバーにあるリストボックス  から、設定タイトルを選択します。


メモ

- リストボックスには、[「よく使う設定」] ダイアログボックスで反転表示されているタイトルが表示されます。



- よく使う設定の登録内容については、[スキャン] メニューの [「よく使う設定」の新規作成 / 削除] から確認します。または [スキャン] メニューの [「よく使う設定」の選択] をクリックし、設定タイトルを選択して [変更] をクリックします。

3 原稿をセットします。原稿のセットについてはお使いのスキャナーの取扱説明書を参照してください。

4  ボタンをクリックすると、選択した設定でスキャンを行います。

メモ

[スキャン] メニューの [「よく使う設定」の選択] をクリックし、設定タイトルを選択して [実行] をクリックしてもスキャンを行えます。

スキャンした画像の操作

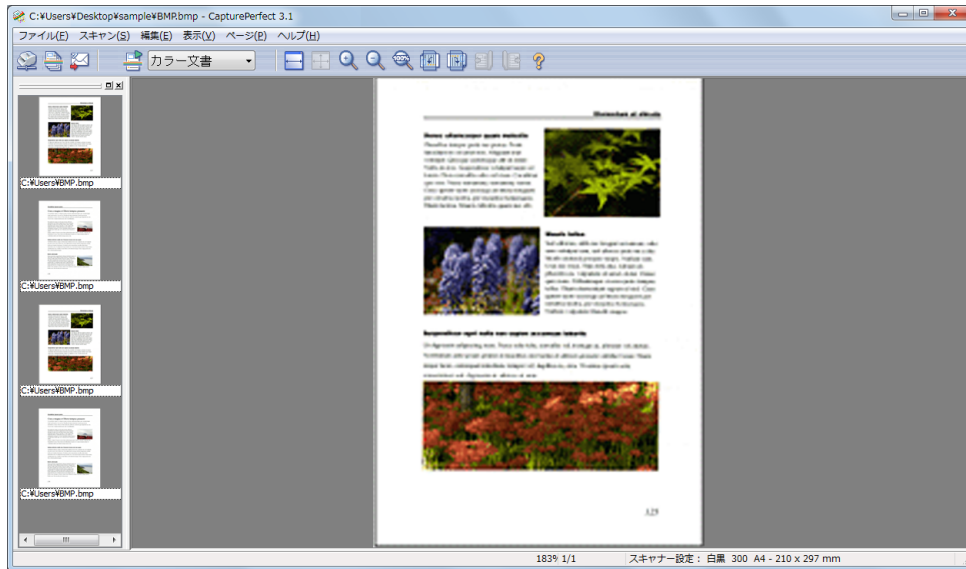
スキャンした画像や開いた画像に対してできる操作について説明します。スキャンした画像は、表示のしかたを変更したり、名前を付けて保存したり、印刷することができます。

- [サムネイルウィンドウを表示する \(→ P. 72\)](#) : サムネイルウィンドウを表示します。
- [ウィンドウを分割する \(→ P. 73\)](#) : 表示ウィンドウを2画面または4画面に分割します。
- [画像を保存する \(→ P. 75\)](#) : 表示されている画像を保存します。
- [画像ファイルを開く \(→ P. 77\)](#) : 保存されている画像を開きます。
- [画像を印刷する \(→ P. 79\)](#) : 表示されている画像を印刷します。
- [開いている画像の明るさを調整する \(→ P. 81\)](#) : 開いている画像の明るさを調整します。
- [画像ファイルにページを挿入 / 追加する \(→ P. 82\)](#) : 開いている画像ファイルにページを追加します。
- [画像ファイルのページを差し替える \(→ P. 85\)](#) : 開いている画像ファイルのページを指定した画像に差し替えます。
- [PDF ファイルにセキュリティを設定する \(→ P. 88\)](#) : PDF ファイルにファイルの閲覧、印刷を制限するセキュリティを設定します。

サムネイルウィンドウを表示する

サムネイルウィンドウには、開いている画像の縮小画像が表示され、サムネイルウィンドウで選択された縮小画像が表示ウィンドウに表示されます。

サムネイルウィンドウの表示 / 非表示は、[表示] メニューの [サムネイル] で行います。



メモ

CapturePerfect の終了時にサムネイルウィンドウの表示 / 非表示が保持され、CapturePerfect を再起動させたときには、前回終了時の状態で起動します。

ウィンドウを分割する

表示ウィンドウを、分割させることにより、複数ページの画像を同時に表示させることができます。
表示ウィンドウの分割は、[表示] メニューの [画面の分割] で行い、2 画面、4 画面に分割できます。

⚠ 重要

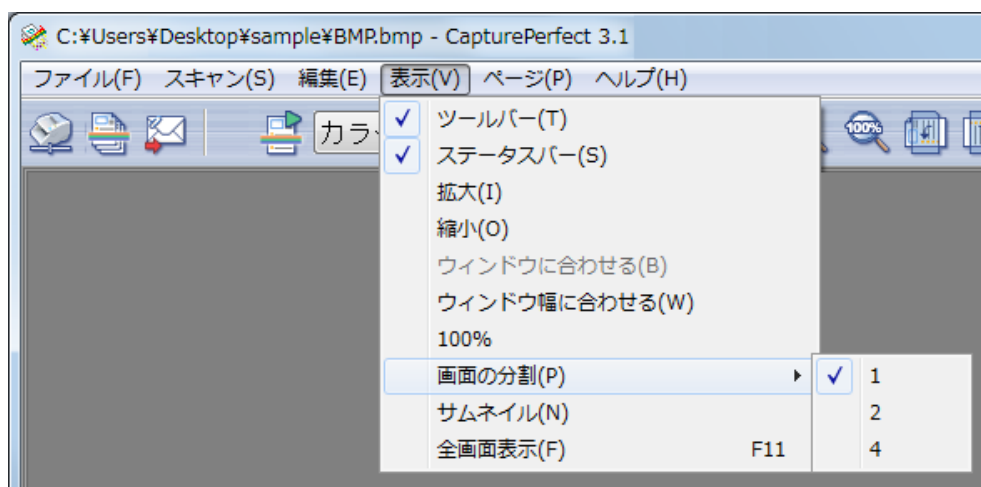
画面を分割表示させる場合、表示させる画像のサイズまたは、分割させる画面の数によってはメモリ不足が発生する場合があります。メモリ不足が発生する場合には、画面分割は使用しないでください。

💡 メモ

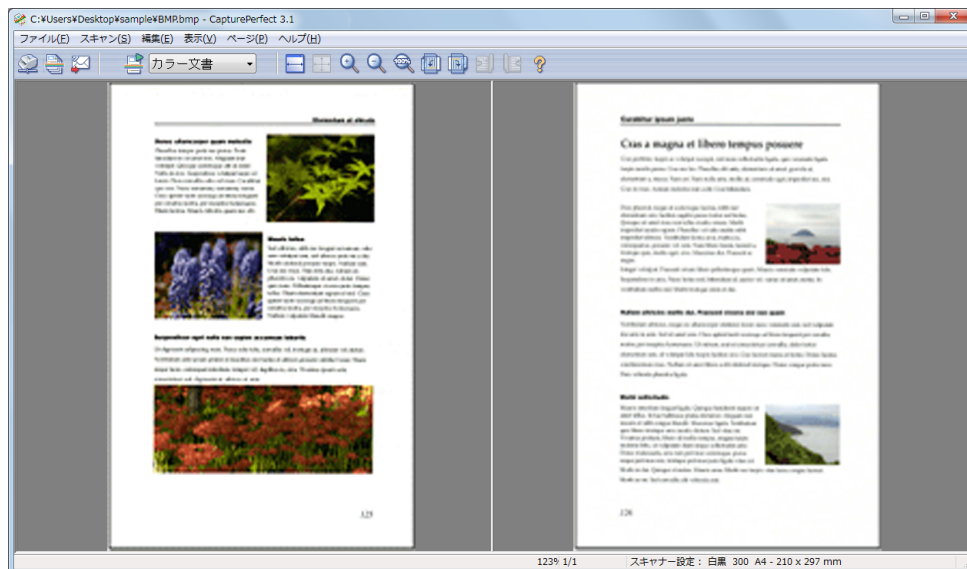
- 分割された画面は、左から右の順に画像が表示されます。
- 画面を分割した状態でスキャンすることができます。
- 画像表示方法の変更（拡大、縮小、回転など）は、分割した画面ごとに変更できます。
- 分割した画面を 1 画面に戻す場合は、[表示] メニューの [画面の分割] で 1 画面を指定します。
- CapturePerfect の終了時にウィンドウの分割状態が保持され、CapturePerfect を再起動させたときには、前回終了時の分割状態で起動します。
- ウィンドウを分割した状態で CapturePerfect を終了させた場合、CapturePerfect を再起動させたときにメモリ不足が発生する可能性がある旨のメッセージが表示されます。メッセージの内容を確認の上、画面分割を使用してください。

2 画面、4 画面に分割する

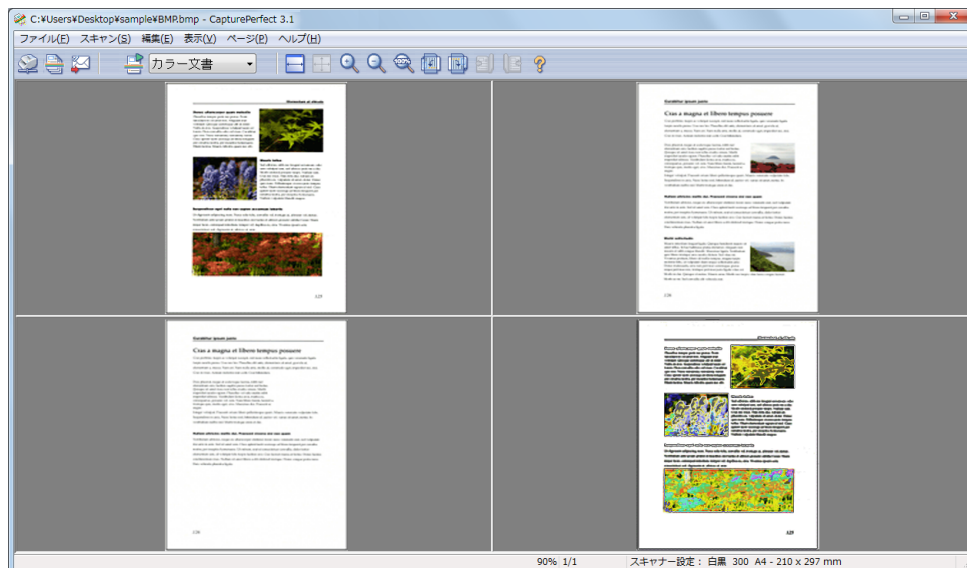
ウィンドウを 2 画面または 4 画面に分割する場合は、[表示] メニューの [画面の分割] を選択し、サブメニューから分割させる数を指定します。



2 分割画面



4 分割画面



画像を保存する

開いている画像ファイルに名前を付けて保存します。

メモ

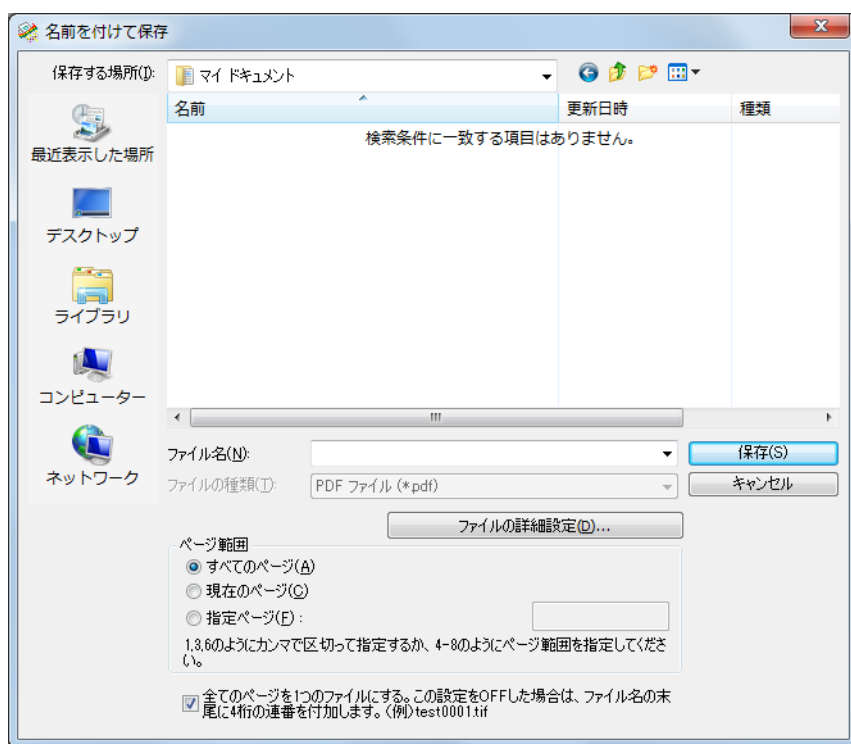
複数の画像ファイルが開いている場合、すべてのページが保存の対象になります。

重要

- 複数の画像ファイルが開いている中に、セキュリティーが設定されている PDF ファイルが含まれていると、名前を付けて保存することはできません。
- 複数の画像ファイルが開いている中に、セキュリティーなしの PDF ファイルが含まれていると、「ファイルの種類」で「* .pdf」以外を選択することはできません。
- PDF を含む複数のファイルを開いている場合、「ページ範囲」で PDF ファイルを含まない範囲を指定していても、「ファイルの種類」で選択できるのは「* .pdf」のみです。

1 [ファイル] メニューの [名前を付けて保存] を選択します。

[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。



2 以下の設定を行います。

- [保存する場所]
ファイルを保存するフォルダーを選択します。
- [ファイル名]
画像ファイルの名前を入力します。
- [ファイルの種類]
画像ファイルの種類を「TIFF ファイル (*.tif)」、「BMP ファイル (*.bmp)」、「JPEG ファイル (*.jpg)」、「PDF ファイル (*.pdf)」、「PNG ファイル (*.png)」から選択します。保存できるファイルの種類はスキャナー設定時に指定した読み取りのモードによって異なります。詳細は、「[保存される画像ファイルについて \(→ P. 17\)](#)」を参照してください。

メモ

スキャンの際には、[ファイルの詳細設定] ダイアログボックスで設定した圧縮率などが適用されます。詳細は、「[ファイル形式別の設定 \(→ P. 17\)](#)」を参照してください。

重要

開いている画像ファイルが白黒画像の場合、「JPEG ファイル (*.jpg)」を選択するとグレースケール画像で保存されます。

元画像（白黒）

The performance of this s
installed. Make sure that
following environmental

● Provide adequate spac

JPEG で保存した画像（グレースケール）

The performance of this s
installed. Make sure that
following environmental

● Provide adequate spac

3 複数ページの画像ファイルを保存する場合、保存するページ範囲を設定します。

メモ

セキュリティーが設定されている「PDF ファイル (*.pdf)」の場合、[現在のページ]、[指定のページ] は、無効になります。

4 複数ページの画像ファイルを1つの画像ファイルに保存する場合、[全てのページ]をオンにします。

メモ

- [全てのページ] がオフの場合、1 ページ毎に画像ファイルが分割され、保存される画像ファイルに4桁の連番が付加されます。ただし、保存される画像ファイルが1ページの場合、4桁の連番は付加されません。
- 保存するファイルの種類が「TIFF ファイル (*.tif)」および「PDF ファイル (*.pdf)」のときのみ、[全てのページを1つのファイルにする。] チェックボックスが有効になります。

5 [保存]ボタンをクリックします。

[名前を付けて保存] ダイアログボックスが閉じ、画像が保存されます。

画像ファイルを開く

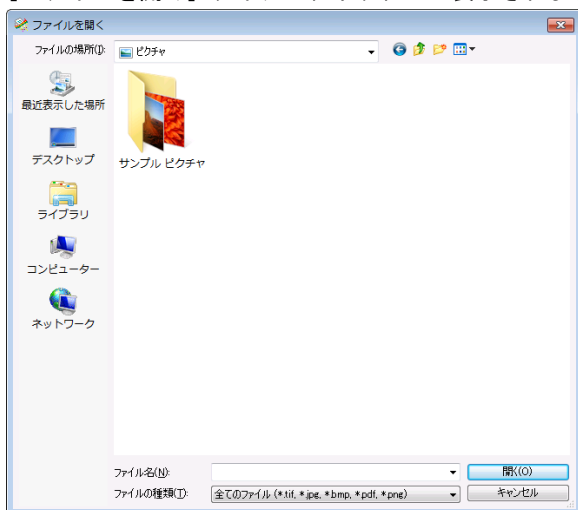
CapturePerfect で保存した画像ファイルを開きます。

メモ

開くことのできる画像ファイルは、CapturePerfect で保存した TIFF ファイル (* .tif)、BMP ファイル (* .bmp)、JPEG ファイル (* .jpg)、PDF ファイル (* .pdf)、PNG ファイル (* .png) の 5 種類です。

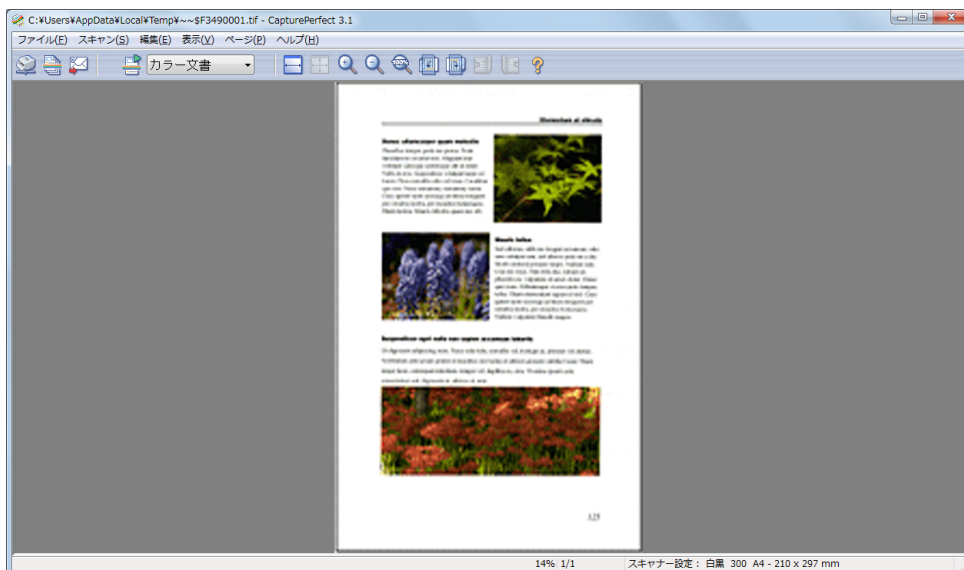
1 [ファイル] メニューの [開く] を選択します。

[ファイルを開く] ダイアログボックスが表示されます。



2 ファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。

選択した画像ファイルが画面に表示されます。



メモ

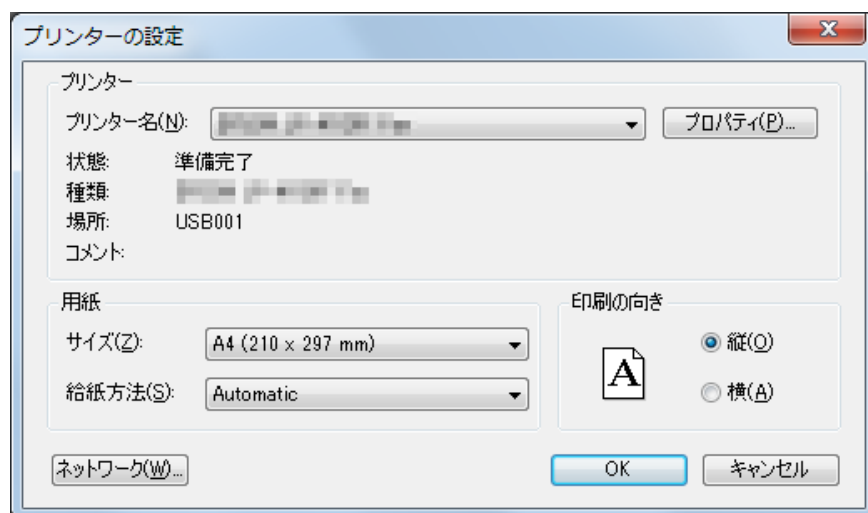
複数のファイルを選択してまとめて一度に開くことができます。Shift キーを押しながら、最初と最後のファイル名をクリックすると、その間にあるすべてのファイルが選択されます。また、Ctrl キーを押しながらファイル名をクリックすると、任意のファイルを選択することができます。

画像を印刷する

ウィンドウに表示されている画像を印刷するには、次のように操作します。

1 [ファイル] メニューの [プリンターの設定] を選択します。

[プリンターの設定] ダイアログボックスが表示されます。



2 必要に応じて、プリンター、用紙、印刷の向きを設定し、[OK] ボタンをクリックします。

メモ

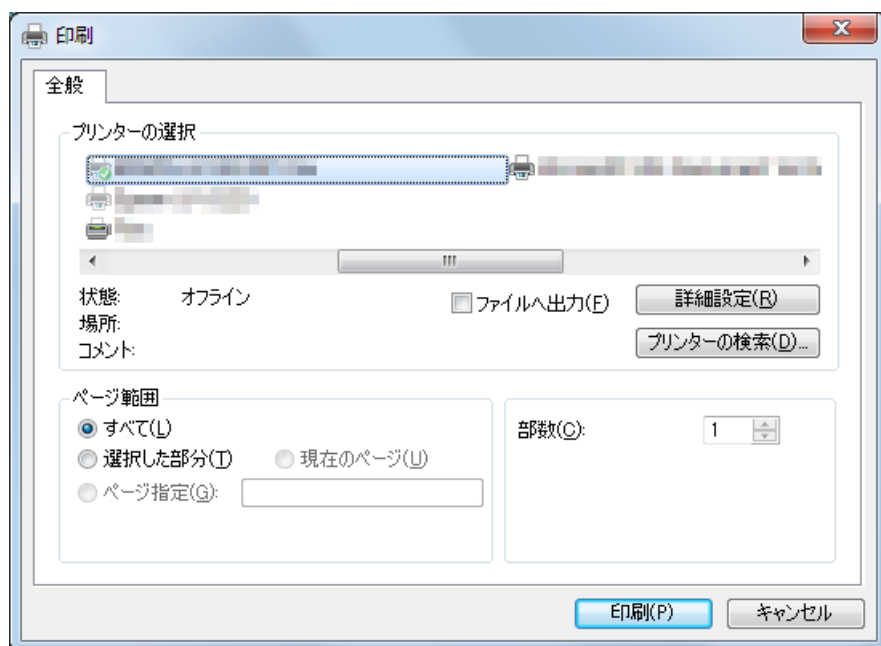
プリンターの詳細な設定を行う場合は、[プロパティ] ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスは、ご使用のプリンタードライバによって異なります。設定の詳細は、ご使用のプリンタードライバの説明書を参照してください。

3 [ファイル]メニューの[プリント形式]を選択し、表示されたサブメニューから目的のプリント形式を次の中から選択します。

- [実寸に合わせる]
印刷する用紙や読み込んだ解像度にかかわらず、原稿と同じサイズで印刷されます。
- [用紙に合わせる]
画像を用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小印刷します。
- [画素単位に合わせる]
読み込んだ画像の 1 ドットがプリンターの 1 ドットになるように印刷されます。そのためドットの小さい高解像度のプリンターで印刷する場合、プリントサイズは小さくなります。

4 [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

[印刷] ダイアログボックスが表示されます。

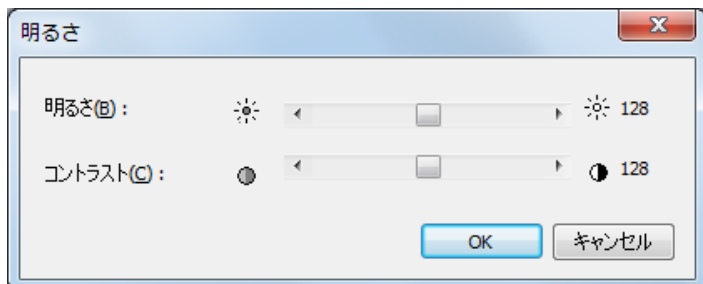


5 設定内容を確認し、[印刷]ボタンをクリックします。

開いている画像の明るさを調整する

ウィンドウに表示中の画像の明るさとコントラストを調整することができます。

明るさの調整を行うには、[編集] メニューの [明るさ] を選択して [明るさ] ダイアログボックスを表示させます。



スライダを左右に動かすと、表示されている画像の明るさとコントラストが調整されます。

調整が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。

メモ

- グレースケールおよびカラー画像の場合、調整した明るさで画像ファイルを保存しなおすことができます。
- 白黒画像の場合、グレースケール表示（[100%] 表示以外）のときに画像の明るさを調整することができます。但し、調整した明るさで画像を保存することはできません。
- 明るさは各ページごとに調整することができます。
- PDF ファイルを表示している場合、調整した明るさで画像を保存することはできません。

画像ファイルにページを挿入 / 追加する

TIFF ファイル (* .tif) または、PDF ファイル (* .pdf) にページを挿入 / 追加します。

挿入 / 追加する画像は、スキャナーからの読み取り、または CapturePerfect で保存したファイルを指定します。

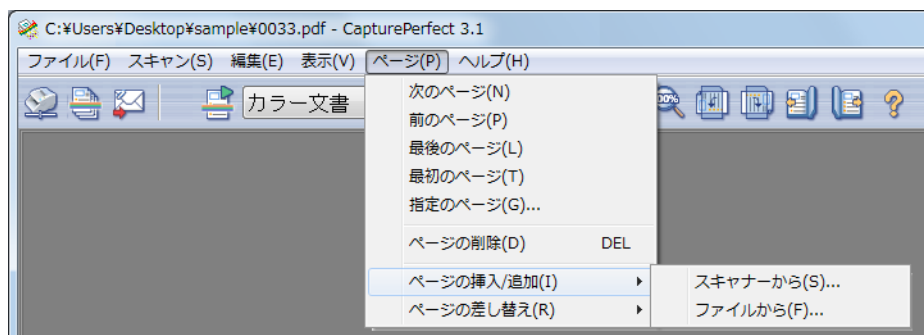
1 TIFF ファイル (* .tif) または、PDF ファイル (* .pdf) を開きます。



メモ

- BMP ファイル (* .bmp) または、JPEG ファイル (* .jpg)、PNG ファイル (* .png) にはページの追加はできません。
- BMP ファイル (* .bmp) または、JPEG ファイル (* .jpg)、PNG ファイル (* .png) で保存されている画像にページを追加する場合には、TIFF (* .tif) または、PDF (* .pdf) 形式で保存しなおしてからページの追加を行ってください。

2 [ページ]メニューの[ページの挿入 / 追加]をクリックし、サブメニューを開きます。



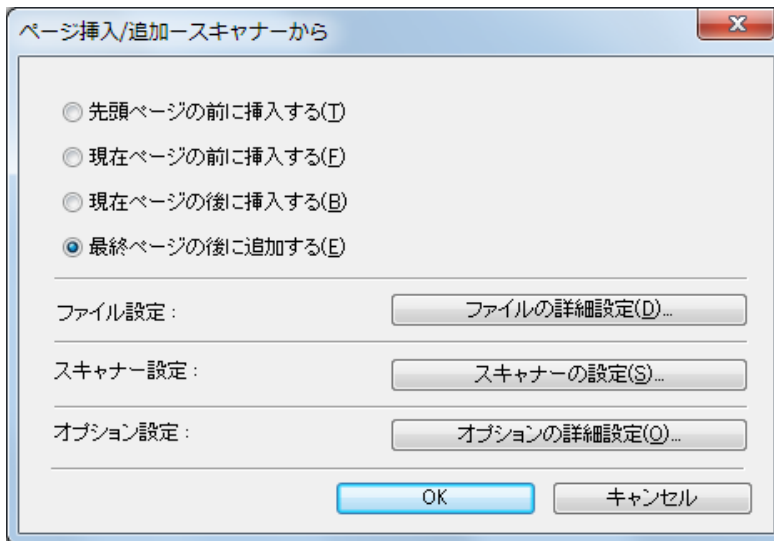
3 挿入 / 追加する画像の入手元を選択します。

- [スキャナーから]
挿入 / 追加する画像をスキャナーから読み取ります。
- [ファイルから]
挿入 / 追加する画像を保存されている画像ファイルから選択します。

4 ページの挿入 / 追加を行います。

[スキャナーから]を選択した場合

1) [ページ挿入 / 追加 - スキャナーから]ダイアログボックスを表示します。

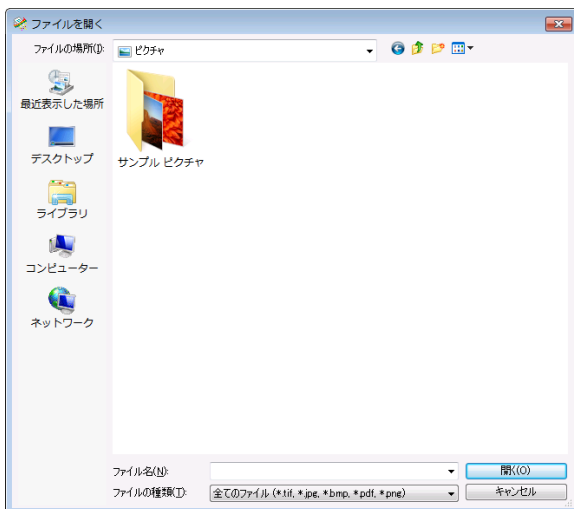


2) ページを挿入 / 追加する位置、および読み取りの設定を行い[OK]をクリックします。
スキャンが開始され、ページの挿入 / 追加が行われます。

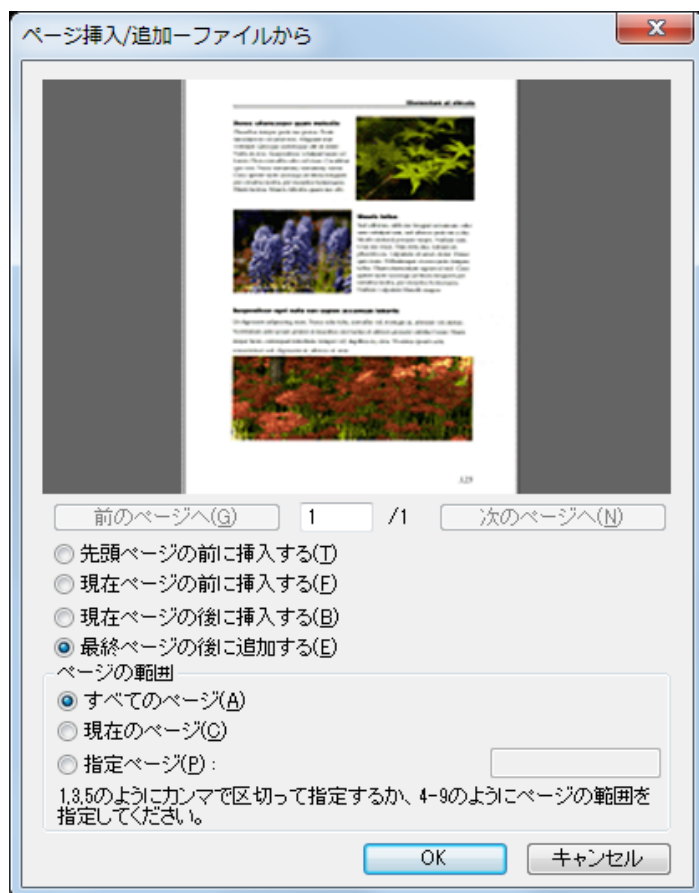
3) 原稿がなくなるとスキャンが終了します。

[ファイルから]を選択した場合

1) [ファイルを開く]ダイアログボックスを表示します。



- 2) 挿入 / 追加する画像ファイルを選択し、[開く]をクリックします。
 [ページ挿入 / 追加 - ファイルから]ダイアログボックスが表示します。



- 3) ページを挿入 / 追加する位置、および挿入する画像ファイルのページを指定して、[OK]をクリックします。
 ページの挿入 / 追加が行われます。

5 ページ挿入 / 追加が終了したら、指定した位置にページが挿入 / 追加されたことを確認します。

メモ

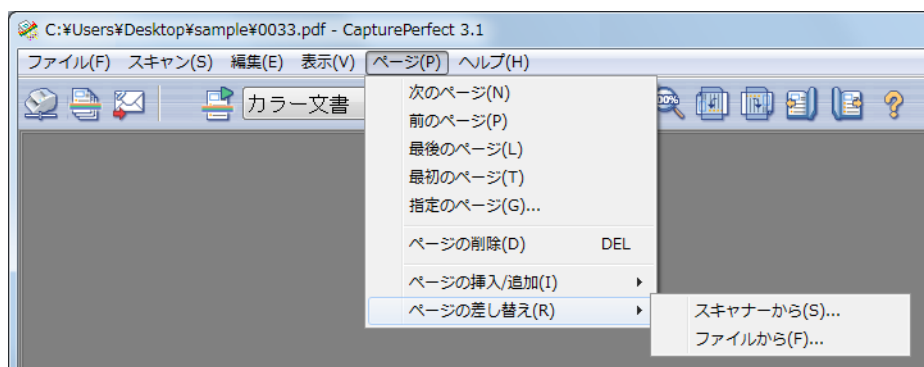
- ページを挿入 / 追加した画像ファイルを保存するときは、[ファイル]メニューから、[名前を付けて保存]または、[閉じる]を選択します。
- [閉じる]を選択すると、ファイルを保存するメッセージが表示されます。[はい]をクリックすると、画像ファイルが上書き保存されます。

画像ファイルのページを差し替える

マルチページで保存されている TIFF ファイル（* .tif）または、PDF ファイル（* .pdf）のページの差し替えを行います。差し替えする画像は、スキャナーからの読み取り、または CapturePerfect で保存したファイルを指定します。

1 TIFF ファイル（* .tif）または、PDF ファイル（* .pdf）を開きます。

2 [ページ]メニューの[ページ差し替え]をクリックし、サブメニューを開きます。



3 差し替える画像の入手元を選択します。

- [スキャナーから]
差し替える画像をスキャナーから読み取ります。
- [ファイルから]
差し替える画像を保存されている画像ファイルから選択します。

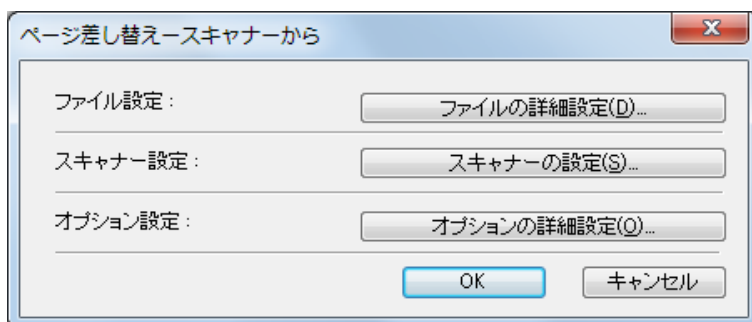
メモ

- [スキャナーから] を選択した場合、表示されているページから後のページがスキャンした画像に差し替えられます。
- [ファイルから] を選択した場合、表示されているページから後のページが選択した画像に差し替えられます。

4 ページの差し替えを行います。

[スキャナーから]を選択した場合

1) [ページ差し替え - スキャナーから]ダイアログボックスを表示します。



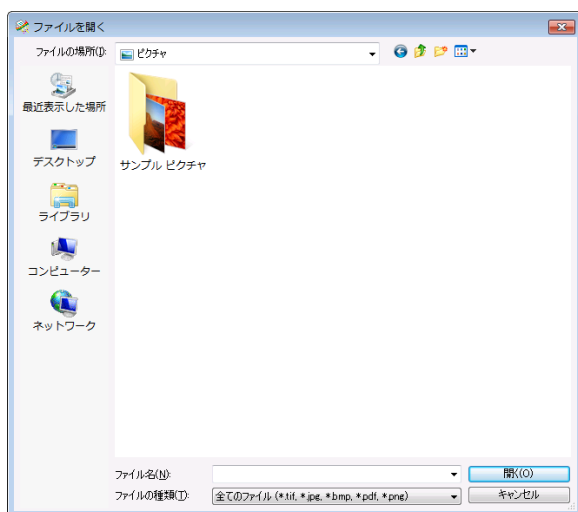
2) 読み取りの設定を行い[OK]をクリックします。

スキャンが開始され、表示されているページから後のページが差し替えられます。

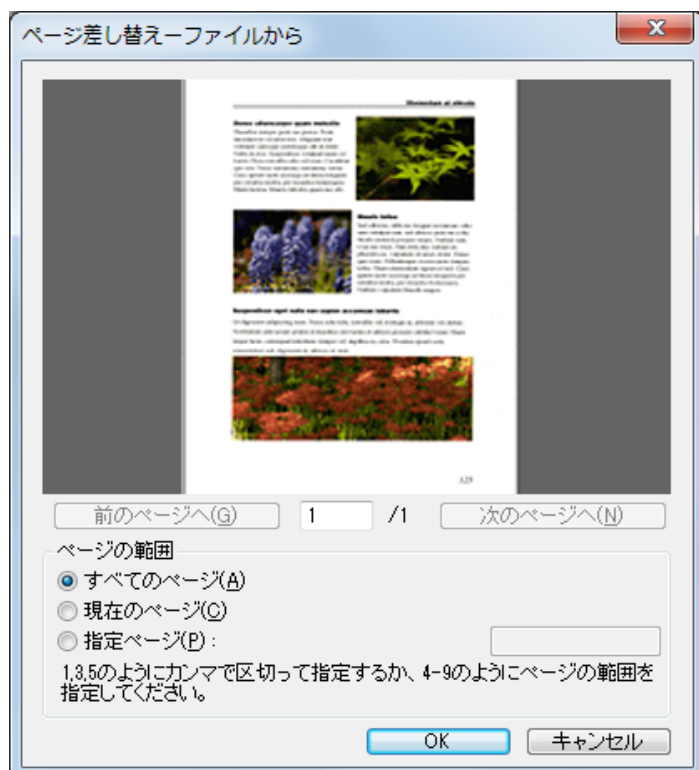
3) 原稿がなくなるとスキャンが終了します。

[ファイルから]を選択した場合

1) [ファイルを開く]ダイアログボックスを表示します。



- 2) 差し替える画像ファイルを選択し、[開く]をクリックします。
[ページ差し替え - ファイルから]ダイアログボックスが表示されます。



- 3) 差し替える画像ファイルの画像を[次のページへ]、[前のページへ]で確認し、ページ範囲を指定して[OK]をクリックします。
表示されているページから後のページが、ページ範囲で指定された画像に差し替えられます。

5 ページ差し替えが終了したら、指定したページの画像が差し替えられていることを確認してください。

メモ

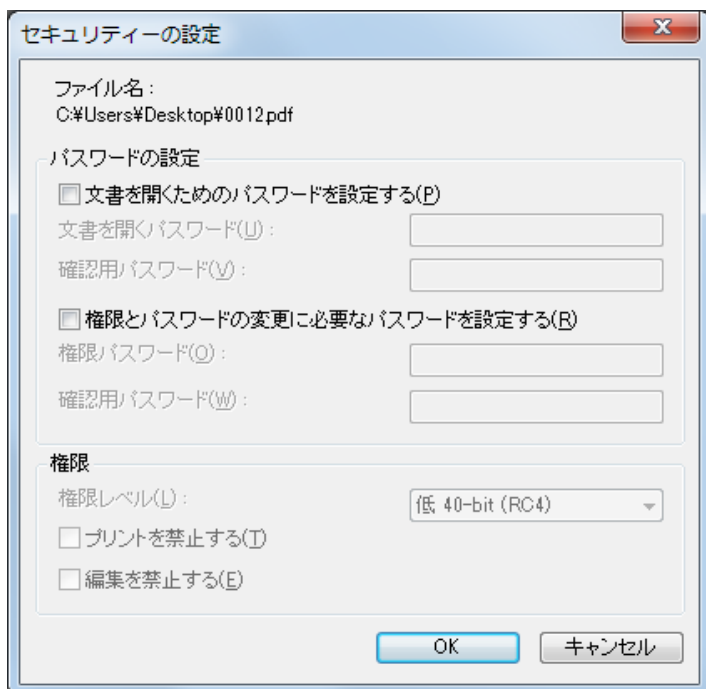
- ページを差し替えた画像ファイルを保存するときは、[ファイル]メニューから[名前を付けて保存]または、[閉じる]を選択します。
- [閉じる]を選択すると、ファイルを保存するメッセージが表示されます。[はい]をクリックすると、画像ファイルが上書き保存されます。

PDF ファイルにセキュリティを設定する

PDF ファイルに閲覧および印刷、ページの編集を制限するためのセキュリティを設定します。

セキュリティの設定

PDF ファイルを開き、[編集] メニューの [セキュリティの設定] で、[セキュリティの設定] ダイアログボックスを開きます。



1 パスワードを設定するチェックボックスをチェックします。

- [文書を開くためのパスワードを設定する]
PDF ファイルを開くためのパスワードで、PDF ファイルを開くときにパスワードを入力するためのダイアログボックスが表示されます。
- [権限とパスワードの変更に必要なパスワードを設定する]
ファイルの印刷やページの編集などの権限の変更を制限するための権限パスワードで、セキュリティの設定を変更する際に、パスワードを入力するためのダイアログボックスが表示されます。

⚠ 重要

権限を設定するときは、権限パスワードを必ず設定してください。文書を開くパスワードだけで権限を設定した場合、文書を開くだけでセキュリティの解除が可能になるので注意してください。

💡 メモ

ページの挿入 / 追加、差し替えを行うときに、挿入 / 追加するファイルとしてユーザーパスワードが設定された PDF ファイルは使用できません。

2 パスワードを設定し、確認のため同じパスワードを入力します。

3 権限を設定します。

- [権限レベル]
セキュリティの権限レベルを選択します。権限レベルには、高 128-bit (RC4) と、低 40-bit (RC4) の 2 つの暗号化レベルがあり、低 40-bit (RC4) はセキュリティレベルが低く、高 128-bit (RC4) はセキュリティレベルの高い暗号化を行います。
- [プリントを禁止する]
PDF ファイルの印刷を禁止します。
- [編集を禁止する]
ページ操作（挿入 / 追加 / 差し替え）を禁止します。



重要

権限を設定するときは、権限パスワードを設定し、ユーザーによるセキュリティ解除を制限してください。

4 [OK]をクリックするとセキュリティが設定されます。



メモ

セキュリティの設定および解除は、ファイルの保存に関係なく、設定されます。

セキュリティの解除

セキュリティの設定されている PDF ファイルを開いた場合、[編集] メニューの [セキュリティの解除] が有効になります。セキュリティを解除するときは、[セキュリティの解除] をクリックし、メッセージにしたがってセキュリティの解除を行います。



メモ

- 権限パスワードが設定されている場合は、権限パスワードの入力が必要です。
- 文書を開くパスワードのみの場合は、[セキュリティの解除] をクリックしたときに、セキュリティ解除の確認のメッセージが表示されます。[OK] をクリックしてセキュリティを解除してください。

索引

Numerics

1 ページのみスキャン49

A-Z

JPEG 圧縮の設定21

OCR 機能35

PDF ファイルの設定19

PowerPoint ファイルの
設定22

TIFF ファイルの設定17

あ行

明るさ調整79

印刷77

ウィンドウの分割71

か行

回転保存41

画像の操作

印刷77

開く75

保存73

さ行

差し替え(ページの～)83

サムネイル70

ジョブ64

スキャナーの設定15

スキャナーの選択15

スキャンして SharePoint
サーバーに送信58

スキャンしてプリント53

スキャンして保存50

スキャンしてメール55

[スキャン]メニュー7

ステータスバー14

セキュリティ設定86

解除87

設定

JPEG 圧縮21

PDF ファイル19

PowerPoint ファイル22

TIFF ファイル17

スキャナー15

ポインター10

容量警告44

全画面表示62

挿入(ページの～)80

その他の設定41

た行

追加(ページの～)80

は行

バーコード/OCR の

修正40

[表示]メニュー11

開く(画像を～)75

ファイル形式17

ファイル名26

ファイル名の制限30

[ファイル]メニュー5

フォルダー名26

プリント形式6

プレゼンテーションモードで
スキャン61

分割して保存43

ページ差し替え83

ページの挿入 / 追加80

[ページ]メニュー12

[ヘルプ]メニュー13

[編集]メニュー9

ポインターの設定10

保存73

ま行

マルチストリーム31

マルチページファイル24

や行

容量警告設定44

よく使う設定64

ら行

ログファイル38